



MEDIA IP-PHONE

Full IP Package マニュアル

もくじ

第1章 ～お使いになる前に～

はじめに	4
特長	4
安全上のご注意	6
使用上のお願い	9
MEDIA IP PHONE FULL IP（以下、M-Phone FULL IP）の構成	11
M-Phone FULL IP の使用・接続例	13
各部のなまえとはたらき	14
用語集	20

第2章 ～セットアップをする～

セットアップの準備	22
CxServer500 の初期設定	24
電話機IP - 150M の初期設定	38
局線ゲートウェイGW - 15P の初期設定	40
M-Phone FULL IP の動作確認	43
M-Phone FULL IP の設定保存手順	45
M-Phone FULL IP の設定保存	46

第3章 ～電話をかける・受ける～

基本的な使いかた	50
便利な使いかた	58

第4章 ～サーバ設定（Web上のデータ設定）のしかた～

Web上のデータ設定	73
データ設定・ネットワーク設定	77
データ設定・電話設定	81

第6章 ～ご参考～

増設について	100
主な仕様	101
管理機能一覧	102
工場出荷設定一覧	104
発信番号割当とシステム特番	107
S/N番号とMACアドレスについて	107
CxServer500とIP-150Mの工場出荷設定方法	108
GW-10TとGW-15Pの工場出荷設定方法	109
ビジネスホン機能リファレンス	110
故障かな?と思ったら	110

CHAPTER

1

～ お使いになる前に ～

はじめに	4
特長	4
安全上のご注意	6
使用上のお願い	9
取り扱いについて	9
置き場所について	9
MPhone FULL IP および電源アダプターについて	10
ソフトウェアのライセンスについて	10
停電時のご使用について	10
この順序でご使用ください	11
MPhone FULL IPの構成	12
構成機器一覧および用途	13
MPhone FULL IPの使用・接続例	14
各部のなまえとはたらき	18
SP 電話機(IP-150M)	18
カールコードで電話機と受話器を繋ぐ	20
SP サーバ (CxServer500)	21
局線ゲートウェイ (GW-15P)	21
SP サーバ (CxServer500) の機能	22
局線ゲートウェイ(GW-15P)の機能	23
端末ゲートウェイ(GW-10T、オプション)の機能	23
MPhone FULL IP 専用 ISONGW(ISONGW、オプション)の機能	23
用語集	24

第1章 お使いになる前に

はじめに

このたびは、「MPhone FULL IP」をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。
「MPhone FULL IP」はIP電話ネットワークを利用した法人様向け、および小規模事業所向けの電話システムです。内線・外線発着信、保留、転送、短縮ダイヤル等のビジネスホン機能をIP電話システムで実現します。

国際標準プロトコルであるSIP(RFC3261)を採用し、低価格かつ超小型でありながら、最高の音質を誇るシステムで、さまざまなPCアプリケーションを連携可能にする、他に類を見ないすばらしい商品です。皆様に必ずご満足いただけるものと確信致しております。

本機の優れた機能を十分に活用して安全に正しくお使いいただくため、この取扱説明書を最後までお読みください。また、お読みになったあとも必要に応じいつでもご覧になれるよう、大切に保管してください。

※この取扱説明書に使用しているイラスト・画面などは、説明のために実際のものとは異なる場合があります。

特 長



PCアプリケーションとの連動

アプリケーションソフトと連動させることで、電話を使うあらゆる場面での効率的な運用が可能になります。電子電話帳、グループウェア、パソコンの便利なソフトと直結することにより、ビジネス電話の概念が一変します。



超コンパクトサイズサーバ

従来では考えられなかったほど小さな装置で、高いパフォーマンスを実現します。



初期設備費用が少ない

スタートのセットがお手ごろ価格なのはもちろんのこと、将来的に電話機の台数が増えても安心です。48台まで簡単に増やすことができます。



スモールスタートから、2400台まで拡張可能

セットを買い足してステーションリンクを利用すれば2400台までスケラブルに拡張可能です。投資が無駄にならず、増設も拠点単位で効率よく行えます。



カンタン自動設定

既存のネットワークに繋ぐだけで自動的に番号設定が行われます。



自分でWeb管理

電話番号の変更などは、わかりやすいWeb管理画面から行えるのでご自分でも電話の設置・管理を行います。



IP電話サービス接続により、大幅コスト低減

IP電話サービスに直接接続することで、高価なゲートウェイも不要です。IP電話サービスは同一サービス契約であれば通信料が一部無料になる等のメリットもあり、ISDN/アナログ回線にも対応できます。



携帯電話用の不在転送機能搭載

お客様からの電話を夜間でも取り逃したくない場合や、ちょっと事務所を空けたいときなどにとても便利な転送設定ができます。



ネットワークトラブルや障害に強い!

音声データの品質を保証するQoS対応や、サーバなどが故障してもすぐに交換し、設定を一発流し込みで修理できる「設定保守機能」で最悪のトラブルに備えます。



省電力エコ設計・スリム収納

M-Phone FULL IPのサーバは低消費電力です。通常の同規模ビジネスホン主装置に比べて数分の一～数十分の一の、最大わずか5Wという省エネ設計を実現しました。地球にやさしく、電気代もオトクです。

安全上のご注意

絵表示について

この取扱説明書には、いろいろな絵表示が記載されています。

これらは、製品を安全に正しくお使いいただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。絵表示の意味をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。



この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



この表示の注意文を無視して、誤った取り扱いをすると、傷害を負ったり物的損害が想定される内容を示しています。

絵表示の説明

注意をうながす記号

行為を禁止する記号

行為を指示する記号



一般的注意



感電



禁止



分解禁止



ぬれ手禁止



一般的指示



電源アダプターを
抜く

- この電話機システムは日本国内用に設計されています。電圧、電話交換方式の異なる海外ではご利用できません。
This telephone system is designed for use in Japan only and cannot be used in any other country.
- 本製品の故障、誤動作、不具合、あるいは停電等の外部要因によって、通話、FAX 通信、データ通信、その他のサービスの利用ができなかったために生じた経済的損害につきましては、当社は一切その責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 本製品を分解したり改造したりすることは、絶対に行わないでください。
- 本書の内容につきましては万全を期しておりますが、お気づきの点がございましたら、当社相談窓口等へお申しつけください。

安全上のご注意 (つづき)

警告

お使いになる前に



- 万一、煙が出ていたり、変なにおいや音がするときは、すぐに電源アダプターをコンセントから抜いてください。

異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。煙が出なくなるのを確認して販売店に修理をご依頼ください。



- 万一、機器の内部に水などが入った場合は、電源アダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 万一、機器の内部に異物が入った場合は、まず機器本体の電源アダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードが痛んだら（芯線の露出、断線など）販売店に交換をご依頼ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 風呂、シャワー室などでは使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



- 雷が鳴り出したら、電話線や電源アダプターには触れないでください。

火災・感電・故障の原因となります。



- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造しないでください。

火災・感電の原因となります。



- 表示された電源電圧（交流 100 ボルト）以外の電圧で使用しないでください。

火災・感電の原因となります。



- 機器に水が入ったり、ぬれたりしないようにしてください。

火災・感電の原因となります。雨天、降雪中、海岸、水辺での使用は特にご注意ください。



- 万一、機器を落としたり、ケースを破損した場合は、機器本体の電源アダプターをコンセントから抜いて、販売店にご連絡ください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



- 電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷きにならないようにしてください。

コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。コードを敷物などで覆ってしまうと、気づかず重いものをのせてしまうことがあります。



- 金属類や燃えやすいものを機器の孔から内部に差し込んだり、落とし込んだりしないでください。

火災・感電の原因となります。特にお客様のいる環境ではご注意ください。



- 機器の近くに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器を置かないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電の原因となります。



- 電源アダプターのカバーは絶対にはずさないでください。

内部には電源の高い部分があり、感電の原因となります。内部の点検・整備・修理は販売店にご連絡ください。



- 電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。

コードが破損して、火災・感電の原因となります。



- 電源アダプターの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源アダプターを抜いてから乾いた布で取り除いてください。

そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

安全上のご注意 (つづき)

⚠ 注意



- 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気が当たるような場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



- 直射日光が当たる場所など、異常に温度が高くなる場所に放置しないでください。
ケースや部品に悪い影響を与え、火災の原因となることがあります。



- 湿気やほこりの多い場所に置かないでください。
火災・感電の原因となることがあります。



- 旅行などで長期間この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプターをコンセントから抜いてください。
火災の原因となることがあります。



- お手入れの際は、安全のため電源アダプターをコンセントから抜いて行ってください。
感電の原因となることがあります。



- 電源アダプターは、布や布団で覆ったり、つつんだりしないでください。
熱がこもり、ケースが変形し、火災の原因となることがあります。風通しの良い状態でご使用ください。



- めれた手で電源アダプターを抜き差ししないでください。
感電の原因となることがあります。



- 電源プラグを抜くときは、コードを持たず必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。
コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。



- 電源プラグの接続は、テーブルタップや分岐ソケットなどを使用したタコ足配線にしないでください。
発熱・火災などの原因となることがあります。



- 電源アダプターは、コンセントに根元まで確実に差し込んでください。
差し込みが不完全ですと、発熱したりほこりが付着して火災の原因となることがあります。また、電源アダプターの刃に触れると感電することがあります。



- 電源アダプターを根元まで差し込んでもコンセントにゆるみがある場合には接続しないでください。
発熱して火災の原因となることがあります。販売店や電気工事にコンセントの交換を依頼してください。



- 電源アダプターを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ず電源プラグを持って抜いてください。



- 移動させる場合は、電源アダプターをコンセントから抜き、電話線など外部の接続コードをはずしてから行ってください。
コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



- 電話機を壁掛けにするときは、重みにより落下しないように堅固に取り付けてください。
落下すると、けがの原因となることがあります。



- 電話機やサーバはぐらついた台の上や傾いたところなど、不安定な場所に置かないでください。また、機器の上に物をのせないでください。
バランスがくずれて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。



安全にお使いいただくために必ずお読みください

使用上のお願い

取り扱いについて

お願い

- 電話機やサーバなどをぬれた布、ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。機器の変色や変形の原因となることがあります。汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れをふき取り、やわらかい布でからぶきしてください。
- 電話機を落としたり、強い衝撃を与えないでください。故障の原因となることがあります。
- 電話機などのコードやケーブル類を引っ張らないでください。故障の原因となることがあります。
- 受話器は逆方向に掛けないでください。正常に動作できないことがあります。

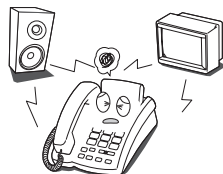


お使いになる前に

置き場所について

お願い

- 故障の原因となりますので、次のような場所への設置は避けてください。
 - ・ 高温となる場所
 - ・ 製氷倉庫など特に温度が下がる場所。
 - ・ 塵、ほこり、鉄粉、有害ガスなどが発生する場所。
- 電気製品、AV・OA 機器などの磁気を帯びているところや磁場が発生しているところに置かないでください（コンピューター、電子レンジ、スピーカー、テレビ、ラジオ、ファクシミリ、蛍光灯、ワープロ、電気こたつ、インバータエアコン、電磁調理器など）。
- 硫化水素が発生する場所（温泉地）や、塩分の多いところ（海岸）などでは、装置や電話機等の寿命が短くなることがあります。
- 電話機は平らな面に置いてお使いください。



M-Phone FULL IP および電源アダプターについて

下記の症状が出た場合には、故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントから抜き、必ず販売店または設置業者に点検をご依頼ください。

- AC アダプターのコードが痛んでいる。
- 変なおいがしたり、煙が出たりする。
- 内部に水や異物が入った。
- 正常に動作しなくなった。
- 本製品を落としたり、破損した場合。

ソフトウェアのライセンスについて

「M-Phone FULL IP」に関わるソフトウェアライセンス（ファームウェア、DLL）は、「M-Phone FULL IP」を購入された時に、同時にご購入されたこととなります。これらのすべてのライセンス条件は、添付される「ソフトウェアライセンス契約書」の内容となります。

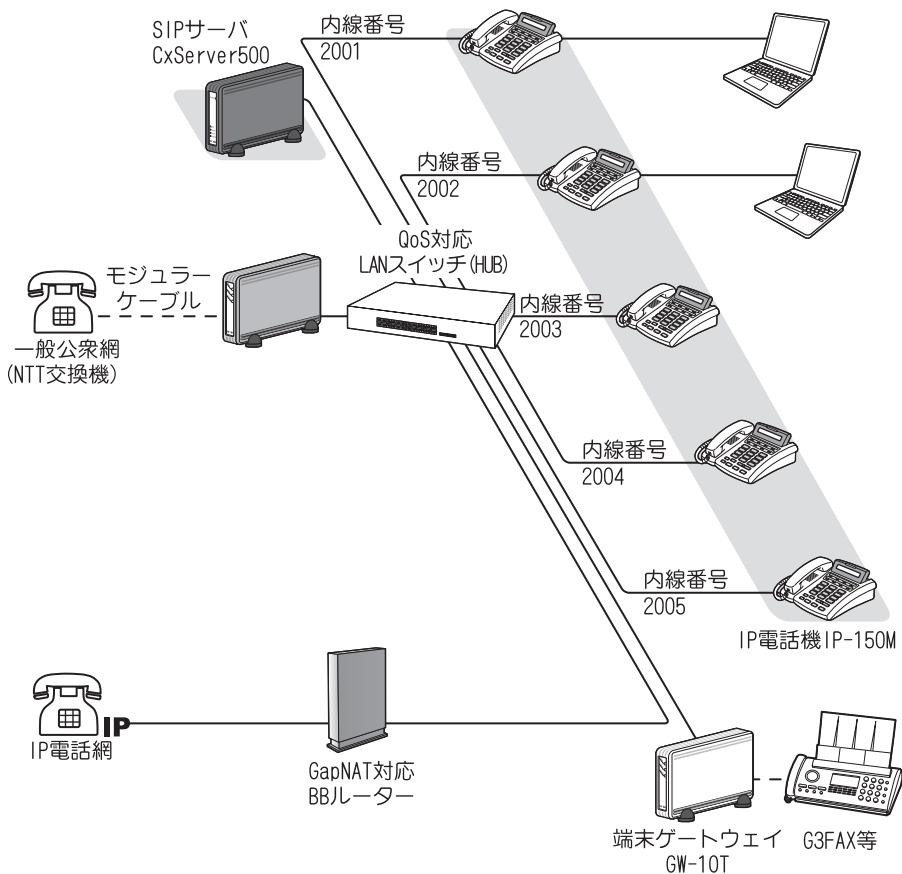
その他、「M-Phone FULL IP」に添付の「M-Phone FULL IP 取扱説明書」等は、複製や他の機関への譲渡・販売ができません。

停電時のご使用について

停電になった場合、「M-Phone FULL IP」で電話をかけたり、受けたりすることができなくなることがあります。停電に対してはUPS（無停電装置）等を設置して対処してください（162 ページ参照）。

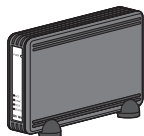
M-Phone FULL IPの構成

お使いになる前に



構成機器一覧および用途

お
使
い
に
な
る
前
に



〈CxServer500〉

SIP の B2BUA サーバとして呼制御を行ないます。

外形寸法： 115×30×160(mm)

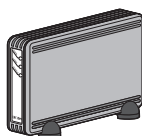
(最大 12 外線 / 48 内線 / 8 内線グループ)



〈IP-150M〉

LCD 表示 / スピーカーホンを装備した最高級音質の IP 電話端末です。

(PoE 対応、PC 接続用 HUB 搭載)



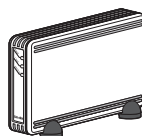
〈GW-15P〉

PSTN (局線) 接続用ゲートウェイ装置です。

外形寸法： 115×30×160(mm)

※単体では「ナンバー・ディスプレイ」機能はご使用になれません。

オプション



〈GW-10T〉

コードレス電話や FAX など、アナログ端末接続用ゲートウェイ装置です。

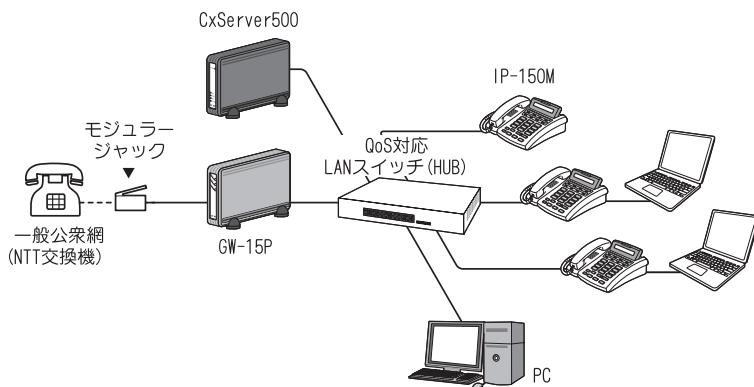
外形寸法： 115×30×160(mm)

M-Phone FULL IPの使用・接続例

「簡単ネットワーク」が特長の「M-Phone FULL IP」は、色々なネットワーク構成が構築できます。次にいくつかの構成例を紹介します。

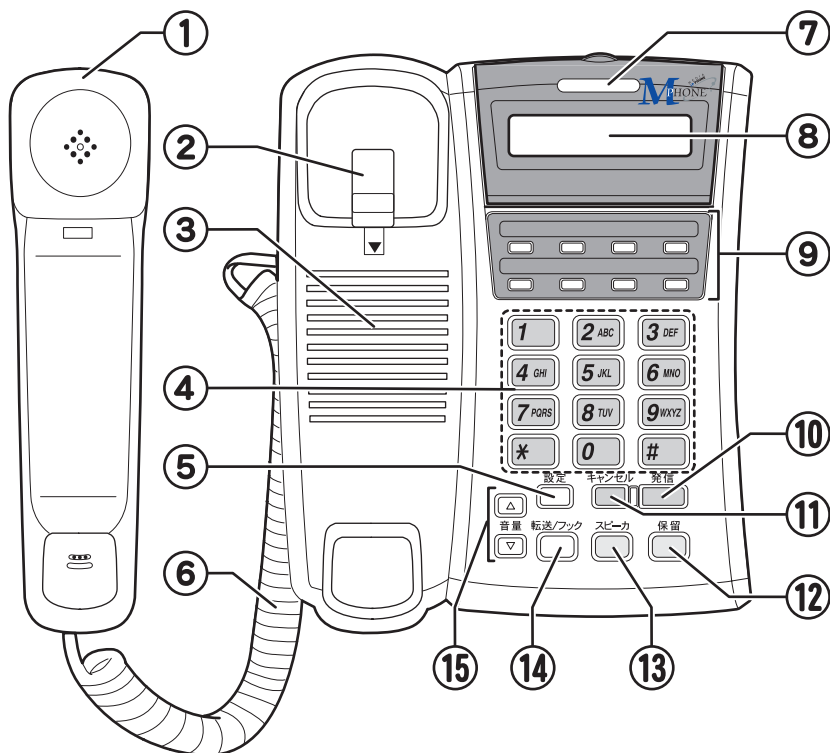
一般公衆網（アナログ回線）をIP電話に！

IP電話とパソコンを連携できます。



各部のなまえとはたらき

SIP電話機(IP-150M)



⑨ 8プログラマブルLED付きキー

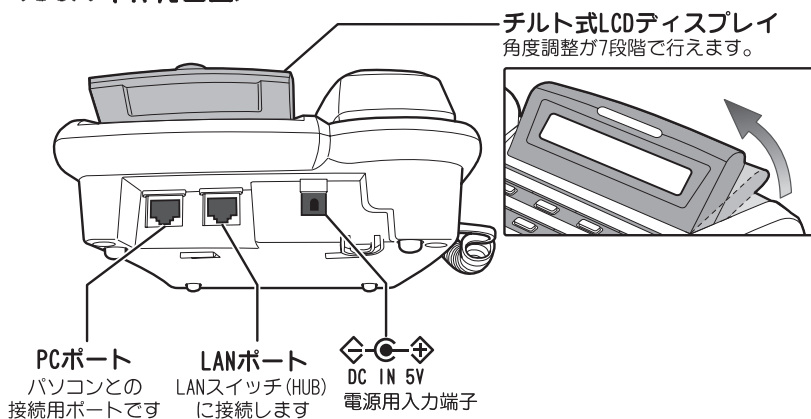


ミュートボタン

ピックアップボタン

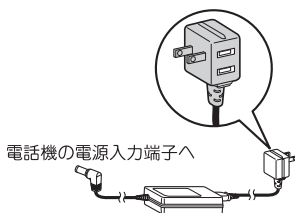
① 受話器	通話用の受話口（スピーカ）および送話口（マイク）が一体となっています。
② フックスイッチ	受話器を置いた状態（ONフック）、取り上げた状態（OFFフック）の切り替えを行ないます。
③ スピーカ	着信音を聞いたり、受話器を置いて相手の声を聞いたりします。
④ ダイヤルボタン	電話番号を押したり、各種設定時に使用します。
⑤ 設定ボタン	電話機の設定等の際、設定内容を確定します。
⑥ カールコード	本体と受話器を接続します。
⑦ 着信ランプ	着信した際、赤く点滅します。
⑧ チルトアップ式液晶（LCD）ディスプレイ	各種の表示を液晶（LCD）で行います。（16 桁×2 行） 液晶ディスプレイは見やすい角度に調整することができます。
⑨ 外線マルチラインボタン・ランプ（1～6）	同時にLED ランプが点灯します。外線 着信を表示します。点滅したボタンを押して応答します。外線保留（パーク保留）保留ピックアップに使用します。（57 ページ参照）
ミュートボタン	スピーカホン通話中に押すと、自分の声を相手に聞こえなくします。もう一度押すとミュートが解除となります。ON時には点灯します。
ピックアップボタン	同一のCxServer500に登録された、他の電話機への着信をピックアップできます。
⑩ 発信ボタン / リダイヤル	外線発信の場合、ダイヤル番号の最後に押すと、すぐに発信します。 内外線発信の場合、続けて2回押すとリダイヤル発信します。
⑪ キャンセルボタン	番号を間違えたとき、また電話機の設定時等で設定内容を変更・キャンセルするときに使用します。
⑫ 保留ボタン	通話を自己保留するときに使用します。 保留中は点灯します。
⑬ スピーカボタン	ONフック発信時（受話器を置いたまま登録する）や、ハンズフリー通話時に押します。 ON時には点灯します。（61、62 ページ参照）
⑭ 転送／フックボタン	通話を別の電話機（内外線）に転送するときに使用します。
⑮ 音量ボタン	受話音量およびスピーカの音量調整時に使用します。 （▲は増音、▼は減音）

<IP-150M 本体背面図>



<ACアダプター IPAD-532>

※プラグ部にソケットが
1つ付きます。

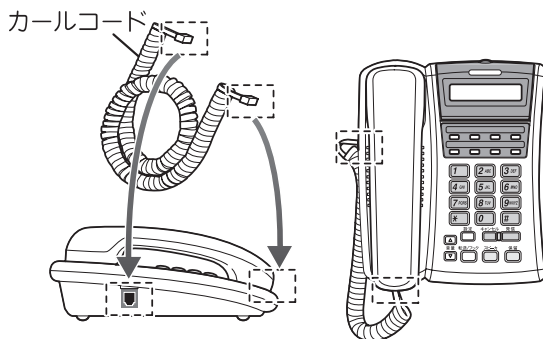


ご注意

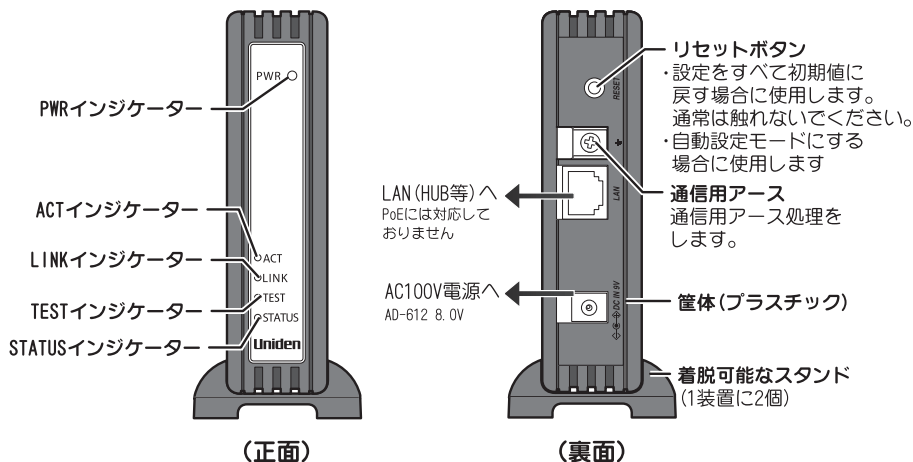
- AC アダプターは必ず付属のもの (IPAD-532) を
お使いください。
また、改造は絶対にしないでください。
- 接続するLAN スイッチが給電スイッチングタイプ
であれば電話機に電源が供給されますので AC ア
ダプターを接続する必要はありません。

カールコードで電話機と受話器を繋ぐ

付属のカールコードで電話機本体と受話器を接続します。

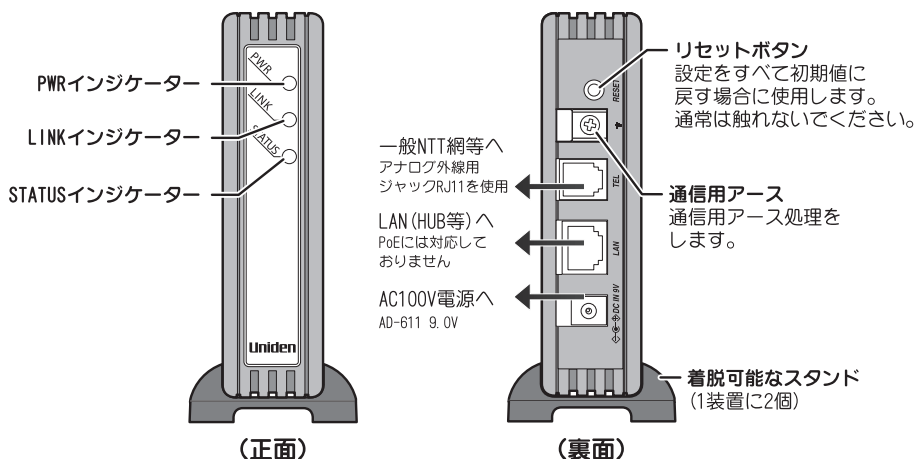


SIPサーバ (CxServer500)



お使いになる前に

局線ゲートウェイ (GW-15P)



SIPサーバ (CxServer500) の機能

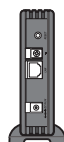
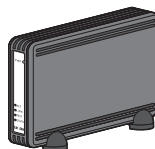
SIP (24 ページ「用語集」参照) 標準(RFC3261)に準拠したプロトコルを搭載する、極小サイズのサーバ[115×30×160(mm)]です。

1 台のサーバに IP 電話端末を 48 台まで接続できます。※

サーバ同士を 50 台まで複数接続して、互いのサーバをリンクさせることができ (ステーションリンク機能) 最大 2400 台の IP 電話機を接続できます。※

1 台のサーバに収容される IP 電話端末の内線を 8 グループに分けることができます。分け方は自由で、グループに着信した場合は、グループ内のすべての電話機を鳴らしたり、グループ内の内線番号の最若番 1 台の端末のみ鳴らし、あとの端末はランプ点滅のみの表示にすることを、設定で可能となります。

設定はサーバ、各 IP 電話端末および局線ゲートウェイを含めすべてをブラウザ上で行い、設定後に機器を接続するだけで各機器に自動で設定内容を配信記録が可能な、オートコンフィグレーション機能があります。

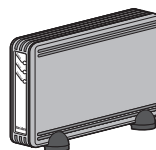


局線ゲートウェイ(GW-15P)の機能

アナログ1回線（モジュラー端子RJ11）を収容するゲートウェイで、1台のサーバに12台までのゲートウェイを収容できます。サーバと同様、極小サイズのゲートウェイ[115×30×160(mm)]です。接続例は14～17ページを参照してください。

直接一般公衆網（PSTN網）を収容する事が出来ます。

一般家庭（アナログ電話機使用）のモジュラージャックに接続して、M-Phone FULL IUP のシステムを構築することで、家庭内IP電話を実現できます。

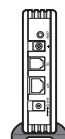
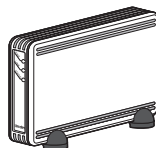


お使いになる前に

端末ゲートウェイ(GW-10T、オプション)の機能

アナログ電話やFAX・コードレス電話機などのアナログ端末を収容できます。大きさはサーバと同様[115×30×160(mm)]で、収容できる端末は、アナログ電話やG3-FAX、コードレス電話機等です。

FAXは“みなし音声”（G.711u使用）（24ページ「用語集」参照）での送受信となるため、100%の動作保証はできません。また、マルチライン着信機能は利用できません。



用語集

みなし音声	モデム信号を音声扱いで送信する方法。
PBX	Private Branch eXchange の略。PABXとも呼ぶ。 私設構内交換機＝電話交換機。
SIP	Session Initiation Protocol の略。 転送機能や発信番号通知機能など、IP 電話に必要な機能を備えた規格。
ゲートウェイ	双方のネットワーク間でプロトコルの違いなどを調整し、他のネットワークとの接続の場合に、その架け橋となる機器やソフトウェアのこと。
DHCPサーバ	Dynamic Host Configuration Protocol の略。 クライアントに IP アドレスが重複しないように割り振る機能。
VoIP	Voice over Internet Protocol の略。 IP ネットワーク経由で音声通話を実現する技術。
PSTN	Public Switched Telephone Network の略。 「公衆電話交換網」。一般の加入電話回線ネットワークのこと。
PoE	Power over Ethernet の略。 イーサネットの配線ケーブルを利用して電力を供給する技術。
QoS	Quality of Service の略で、サービス品質の意味。 ネットワーク通信のために帯域を予約し、一定の通信品質を保証する技術。
LANスイッチ(HUB)	LAN ケーブルを集中して接続する集線装置。
ファームウェア	ハードウェアに組み込まれた、基本的な制御を行なうためのソフトウェアのこと。

CHAPTER

2

～ セットアップをする ～

セットアップの準備	26
MPhone FULL IP の設定に必要なもの	26
MPhone FULL IP の設定の流れ	26
MPhone FULL IP の基本的な接続	27
CxServer500の初期設定	28
LANスイッチ（HUB）に設定用PCを接続する	29
設定に用いるPCのIPアドレスを変更する	29
CxServer500をLANに接続する	32
CxServer500のIPアドレスを変更する	33
自ステーション設定を行なう	38
設定用PCのIPアドレスを復元する	39
CxServer500を自動設定モードにする	41
電話機IP-150Mの初期設定	42
LANスイッチに電話機を接続する	42
すべてのIP-150Mを登録する	43
内線番号を確認する	43
局線ゲートウェイGW-15Pの初期設定	44
GW-15Pを電話回線へ接続する	44
GW-15Pの接続を確認する	46
GW-15Pの接続確認が終了したら	46
MPhone FULL IPの動作確認	47
内線への発信確認をする	47
外線への発信確認をする	48
外線からの着信確認をする	48
MPhone FULL IPの設定保存手順	49
MPhone FULL IPの設定保存	50

第2章 セットアップをする

セットアップの準備

M-Phone FULL IPの設定に必要なもの

M-Phone FULL IPシステム(以下 M-Phone FULL IP)の設定を始める前に、以下のものをご用意、ご確認ください。

- 設定用PC(パソコン)
 - ・ LAN アダプター(すでに内蔵されている機種もあります)
 - ・ LAN ケーブル
- LAN スイッチ (HUB) …QoS 対応のものをおすすめします。
ブラウザソフト(Internet Explorer 6.0 以上、Netscape Navigator7.0 以上、または同等品)(空きポート 9 ポート以上…IP-150M x 5, GW-15P x 2, CxServer500, 設定用 PC)
- DHCP サーバ(ブロードバンドルータなどの機能で有効になっていること)
(または CxServer500 内蔵 DHCP サーバを使用)
- 電源コンセント・電源タップ
- 電話線ローゼット (電話局から引き込まれた電話線端子)
- M-Phone FULL IP セット



ご参考

- CxServer500 や GW-15P には脱着可能な足 (スタンド) が 1 装置に 2 個付属しています。
必要に応じて取り付けてご使用ください。

M-Phone FULL IP の設定の流れ

お客様自身で M-Phone FULL IP を設置する場合は、必ず以下の手順で正しく設定を行なってください。

- ① SIPサーバCxServer500の初期設定を行なう (28 ページ)
- ② 電話機IP-150Mの初期設定を行なう (42 ページ)
- ③ 局線ゲートウェイGW-15Pの初期設定を行なう (44 ページ)
- ④ 動作確認を行なう (47 ページ)
- ⑤ 設定を保存する (49 ページ)



ご参考

● スイッチング HUB の選択について

スイッチング HUB(以下スイッチ)の主な種類として、(A)リピータ型 (B)スイッチング型(QoS なし) (C)QoS 対応型 (D)PoE/QoS 対応型 の4種類があります。

SOHO 環境や小規模オフィスでは M-Phone FULL IP に(B)を組み合わせても問題が出ることはすくないですが、大きなデータを一気に流すような環境(デザイン会社など)では音声品質に問題が出る場合があります。その場合には QoS 対応の(C)または(D)の採用をご検討ください。QoS 対応の(C)または(D)では、音声データを優先して保護する機能を持ちますのでネットワークによる音質悪化の問題が起きません。

PoE 対応型の(D)を利用すると、乱雑になりがちな電源ケーブルを整理できると共に UPS での一括電源保護が可能になります。これにより停電時などでも電話機を利用することができます。

CxServer500の初期設定

注) PC画面は Windows2000 の画面を元に作成しています。



ご注意

工場出荷状態に戻すには

設定に失敗するなどして工場出荷状態に戻す必要がある場合は、以下の手順に従ってください。

CxServer500の場合

- 1) AC アダプターを抜いて電源を切断する。
- 2) 筐体背面のリセットスイッチをボールペンの先などで押しながら、AC アダプターを接続して電源を投入する。
- 3) そのまま 15 秒間ほど待つ。STATUS LED(赤)のみが点灯している間(10 秒間)にリセットスイッチを離す。
- 4) RESET スイッチを押さずに再度 AC アダプターを抜き差しし、電源を ON にする。

GW-15Pの場合

- 1) 電源投入後にPWR LEDが点灯状態になったら、すぐにボールペンの先などでリセットスイッチを 5 秒以上長押しする。
- 2) PWR LED が消灯したら、すぐにリセットボタンを離す。
- 3) 自動的に再起動し、工場出荷設定に戻る。

GW-10Tの場合

170 ページを参照してください。

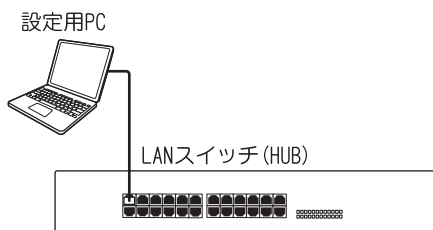
IP-150Mの場合

- 1) AC アダプターを抜いて電源を切断する。LAN ケーブルを抜く。
- 2) 「設定」ボタンを押しながら AC アダプターを接続し、電源を投入する。
- 3) 「保留」ボタンが点滅したら、「設定」ボタンを離す。
- 4) 以下の通りキー操作する。
「2002」
「設定」
「0#」
「設定」
- 5) IP-150M が自動で再起動するので、再起動を確認する。

LANスイッチ（HUB）に設定用PCを接続する

現在ご使用中のLANスイッチの空きポートを9ポート以上用意してください。
電話機の台数を追加した場合は、空きポートを台数分追加してください。

設定用PCを用意し、LANケーブルでLANスイッチの空きポートに接続してください。



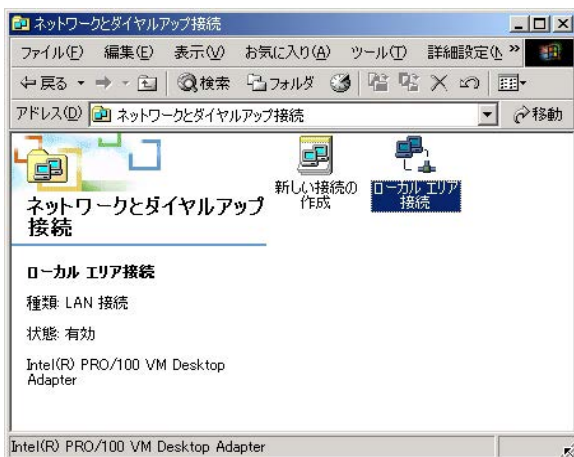
設定に用いるPCのIPアドレスを変更する

設定に利用するPCのIPアドレスを一時的に変更します。

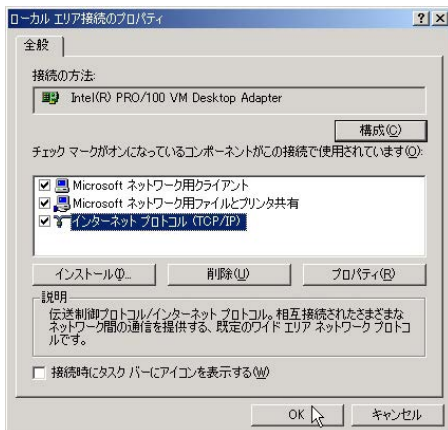
ここでは、現在の設定値の確認と保存、および CxServer を初期設定するための IP アドレス変更を行います。

① [ローカル エリア接続]のプロパティを開く

スタートメニューから[設定]→[ネットワークとダイヤルアップ接続]を開き、
[ローカル エリア接続]のプロパティを開きます。



- ② **【インターネット プロトコル(TCP/IP)】のプロパティを開く**
 真ん中のメニューから**【インターネット プロトコル(TCP/IP)】**を選び、**【プロパティ】**のボタンをクリックします。

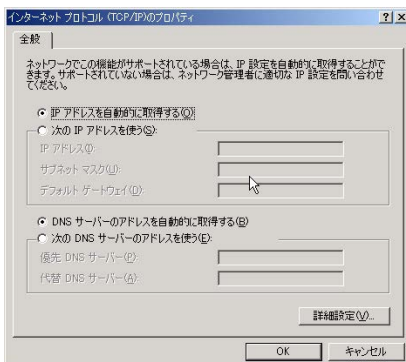


- ③ **現在の設定値をメモ する**
 表示された現在の設定内容をメモ用紙または下記表中に書いて保存してください。
 後の手順で設定を戻す際に必要となります。

IP アドレス	:
サブネットマスク	:
デフォルトゲートウェイ	:
優先 DNS サーバ	:
代替 DNS サーバ	:

！ ご注意

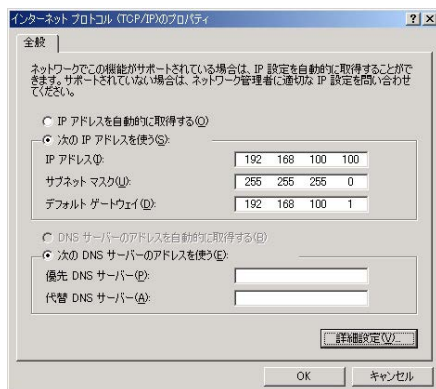
- **設定値は必ずメモしておいてください。**
 設定値を忘れた場合、工場出荷設定に戻さなくてはなりません。



④ 新しい設定値を入力する

初期設定用に下記の新しい設定値を入力します。

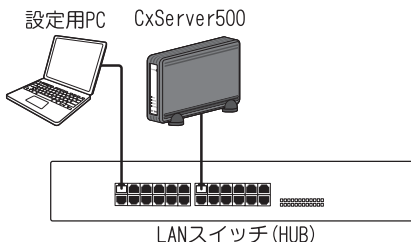
- IP アドレス : 192.168.100.100
- サブネットマスク : 255.255.255.0
- デフォルトゲートウェイ : 192.168.100.1
- 優先 DNS サーバ : 空欄
- 代替 DNS サーバ : 空欄



⑤ PCを再起動する

入力後、[OK]をクリックし、設定用 PC を再起動して設定を有効にしてください。

CxServer500をLANに接続する



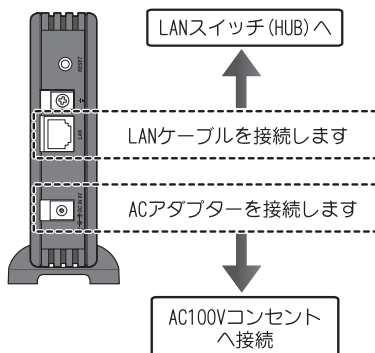
① LANスイッチに接続する

CxServer500をLANスイッチの空きポートに接続してください。

接続には、付属のLANケーブルか、市販のLANケーブル（カテゴリ5ツイストペアまたは同等以上の性能を持つもの）をお使いください。

② 電源を接続する

CxServer500に付属のACアダプターを接続し、電源コンセント(100V)に接続してください。



ご注意

- ACアダプターを間違えないようご注意ください。
CxServer500用は、AD-612（DC8V仕様）です。



③ 各インジケーターを確認する

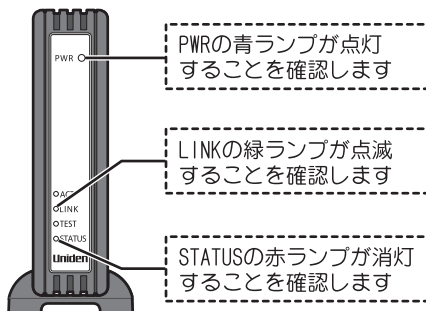
CxServer500 前面のランプを確認します。

電源を接続してから、20秒ほどで起動します。起動終了後、STATUSの赤ランプが消灯します。



ご参考

- CxServer500には電源スイッチがついていませんので、ACアダプターに給電をすると自動的に電源がONになります。



CxServer500のIPアドレスを変更する

① 管理画面を開く

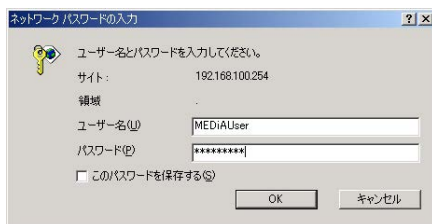
設定用 PC の Web ブラウザを起動します。

ブラウザのアドレスバーに、以下のアドレスを入力して管理画面を開きます。

http://192.168.100.254

② ユーザ名、パスワードを入力する

右記のユーザー名およびパスワードを入力後、**[OK]**ボタンを押してください。

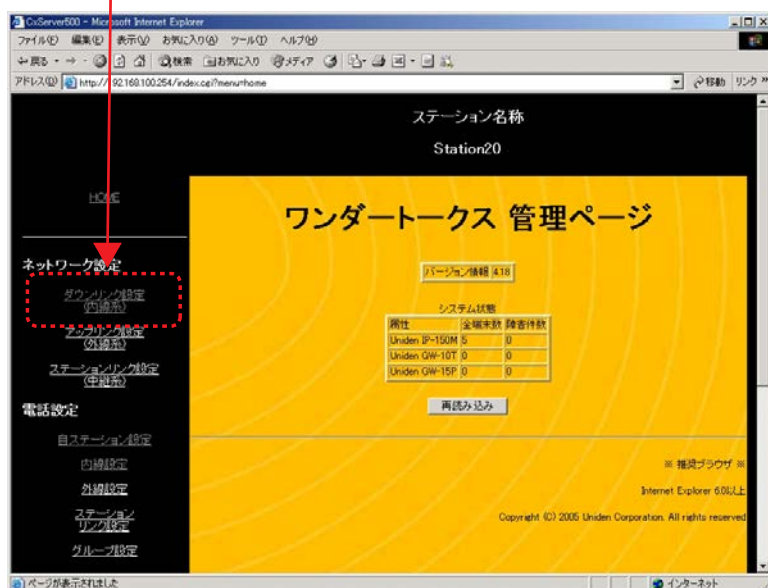


ユーザー名 MEDIUser
パスワード MEDIUser

③ ダウンリンク設定 (内線系) 画面に入る

左側メニューからネットワーク設定の

[ダウンリンク設定 (内線系)]をクリックして、画面を開きます。



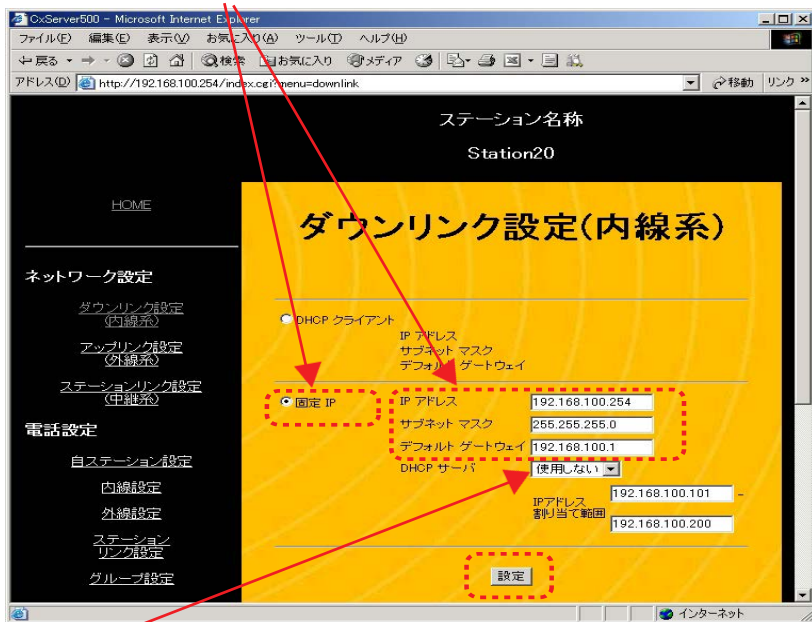
④ CxServerの固定IPアドレスを指定する

固定 IP のチェックボックスを選択します。

IP アドレス・サブネットマスク・デフォルトゲートウェイの各項目を指定します。

新しく決めた IP アドレス等を、メモに記入して保存してください。

※ IP アドレスは、現在利用中の IP アドレスエリアのうち、空いているアドレスを選んで指定してください。その際、DHCP サーバの割り当てアドレス等で使用されていない IP アドレスを指定してください。



⑤ DHCPサーバの設定をする(オプション、特に詳しい方のみ)

現在お手持ちのルータに DHCP サーバ機能がある場合は、DHCP サーバの項目を【使用しない】のままにしてください。

使用する場合は、IP アドレス割り当て範囲を、CxServer500 の IP アドレスと同一サブネットに指定してください。



ご注意

- IP アドレス指定の際は、必ず現在ご利用中のネットワークの IP アドレス計画を確認してから変更してください。

画面下の【設定】をクリックします。

⑥ CxServerの工場テスト用設定値（内線設定）を削除する

画面には工場テスト用設定値が表示されていますので、この表示を削除します。

- (1) 左側メニューから、電話設定の【内線設定】をクリックします。
- (2) 右画面に表示された IP アドレスに数値が入っている行の右側【削除】をクリックして削除します。

- (1) 【内線設定】をクリックします。



- (2) 【削除】をクリックして削除します。

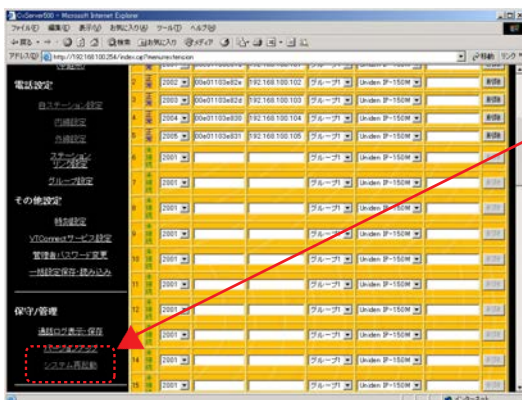
⑦ CxServerの工場テスト用設定値（外線設定）を削除する

- (1) 左側メニューから、電話設定の【外線設定】をクリックします。
- (2) 表示された設定値を削除します。【削除】ボタンをクリックします。
- (3) 【システム再起動】をクリックします。

(1) 【外線設定】をクリックします。



(2) 【削除】ボタンをクリックします。

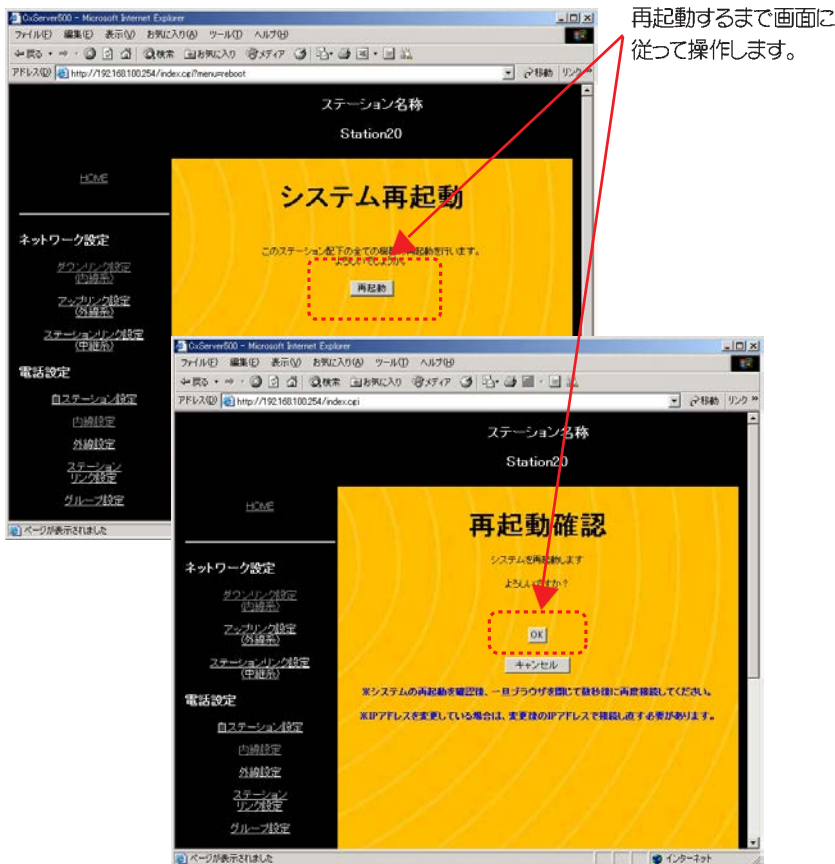


(3) 【システム再起動】をクリックします。

⑧ CxServer500を再起動する

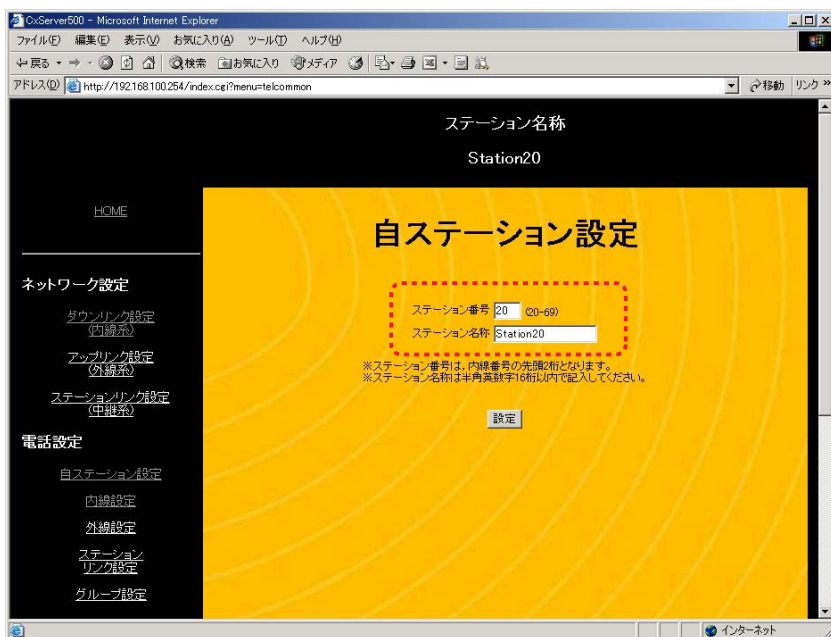
システム再起動の画面で**再起動**をクリックします。

確認が2回あるので再起動するまで画面指示に従ってください。



自ステーション設定を行なう

- ① ステーション番号を「20」に書換えます。
- ② ステーション名称を、任意の名前に書換えます。
「MEDIa IP PHONE」「Station20」など。



ご参考

- ステーション番号は、内線番号の上2桁になります。
ステーション番号を変えることで、20xx から 69xx まで任意の内線番号体系に変更することが出来ます。

ステーション番号	内線番号
20	20xx
21	21xx
22	22xx
—	—
—	—
69	69xx

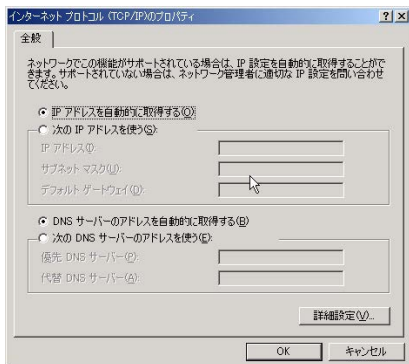
設定用PCのIPアドレスを復元する

① 変更前の設定値に戻す (30 ページの手順でメモした設定値に戻す)

設定用 PC の IP アドレスを元の IP アドレスに戻します。

スタートメニューから**【設定】**→**【ネットワークとダイヤルアップ接続】**を開き、**【ローカル エリア接続】**のプロパティを開きます。

中央のメニューから**【インターネット プロトコル(TCP/IP)】**を選び、**【プロパティ】**のボタンをクリックします。



30 ページで一時的に変更した下記の設定を、メモを参照しながら変更前の数値に戻してください。

- IP アドレス
- サブネットマスク
- デフォルトゲートウェイ
- 優先 DNS サーバ
- 代替 DNS サーバ

② 設定用PCを再起動する

設定用 PC の IP アドレス変更を有効にするため、PC の再起動が必要な場合があります。設定用 PC の画面指示に従ってください。

③ 管理画面に入る

設定用 PC の Web ブラウザを起動します。

Web ブラウザのアドレスバーに、以下のアドレスを入力して管理画面を開きます。

ユーザ名、パスワードを入力して**[OK]**ボタンをクリックしてください。

http://新しいCxServer500のIPアドレス

(※ 34 ページで設定した IP アドレスを入力します。)

ネットワークパスワードの入力

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 192.168.100.254

組織:

ユーザー名(U): MEDIAUser

パスワード(P): *****

☐ このパスワードを保存する(S)

OK Cancel

ユーザ名 MEDIAUser
パスワード MEDIAUser

④ 動作確認をする

新しい IP アドレスで管理ページが開けることを確認します。

ステーション名称
Station20

ワンダートークス 管理ページ

バージョン情報 (3.18)

システム状態		
機種	金額未納	障害件数
Uniden IP-150M	5	0
Uniden GW-10T	0	0
Uniden GW-15P	0	0

再読み込み

※ 推奨ブラウザ ※
Internet Explorer 6.0以上

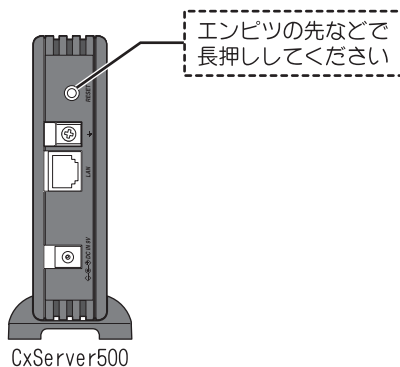
Copyright © 2005 Uniden Corporation. All rights reserved.

次ページから電話機 IP-150M の初期設定完了までは設定用 PC は使用しませんが「局線ゲートウェイ GW-15P の初期設定」で再度使用しますので、開いたままにするか、終了するかは任意で行なってください。

CxServer500を自動設定モードにする

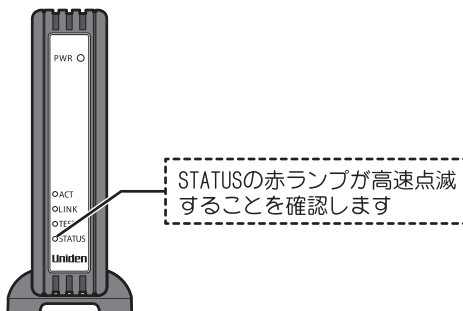
① リセットスイッチを押す

CxServer500 裏面のリセットスイッチを3秒ほど長押しします。



② インジケータを確認する

CxServer500 前面のランプを確認し、STATUSの赤ランプが高速点滅していることを確認します。



電話機IP-150Mの初期設定

LANスイッチに電話機を接続する

① LANスイッチに接続する

すべての IP 電話機を LAN スwitch の空きポートに接続してください。

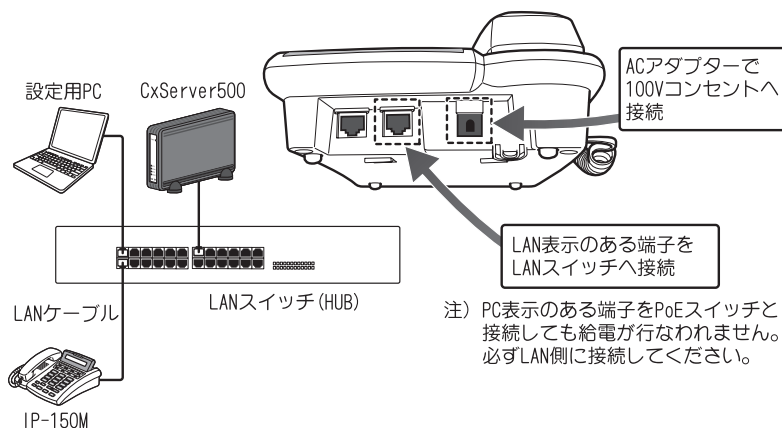
接続には、付属の LAN ケーブルまたは市販の LAN ケーブル（カテゴリ 5 ツイストペアまたは同等以上の性能を持つもの）をお使いください。

② 電源を接続する

IP-150M に AC アダプター（IPAD-532）を接続し、

電源コンセント（100V）に接続してください。

※ PoE 対応 LAN スwitch をご使用の場合は不要です。



ご注意

- 電話機用 AC アダプターを間違えないようご注意ください。
IP-150M 用は IPAD-532 (DC5V 仕様) です。

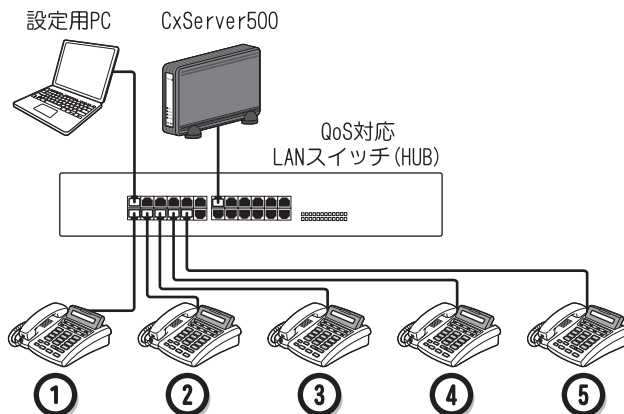


ヒント

- M-Phone FULL IP 推奨 PoE 対応 LAN スwitch (HUB) をご使用であれば、電話機に PoE 対応 LAN スwitch (HUB) から電源が供給されます。従って電話機に AC アダプターを接続する必要はありません。（161 ページ参照）
また、PoE 対応 LAN スwitch (HUB) を使うとネットワークの原因となって起こる音質問題も減少しますので、できれば PoE 対応 LAN スwitch (HUB) のご使用をおすすめいたします。

すべてのIP-150Mを登録する

40、41 ページの手順で、すべてのIP-150Mを内線登録してください。



内線番号を確認する

① 内線番号の自動割り当て

電話機をLAN スwitchに接続した順番で、IP-150Mの内線番号が自動的に割り当てられます。

例： 一番目接続 二番目 三番目 四番目 …
2001 2002 2003 2004 …

⑤



ヒント

- 電話機のIPアドレスはDHCPサーバにより自動設定します。

①

2001

②

2002

③

2003

④

2004

⑤

2005

⑥ 内線番号を確認する

IP-150Mの液晶画面を見て、内線番号が割り当てられたことを確認してください。

2001

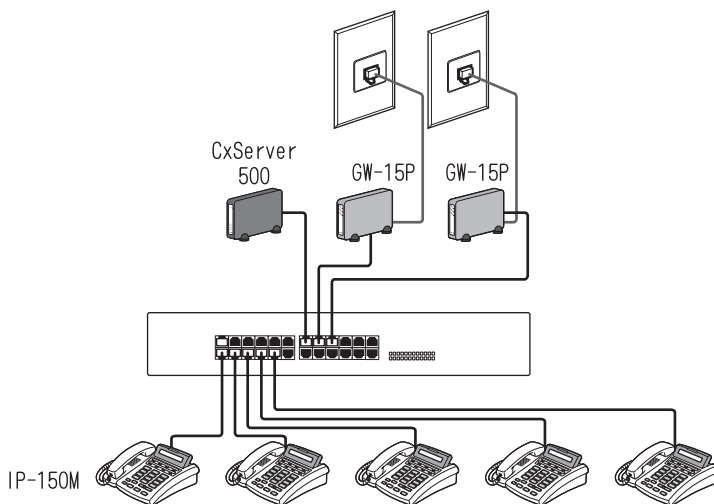
- 内線番号の設定について
IP-150MをLAN スwitch接続することで、自動的に内線番号が決定します。
内線番号を変更するにはサーバ設定（104 ページ参照）で行ないます。

局線ゲートウェイGW-15Pの初期設定

GW-15Pを電話回線へ接続する

一般公衆網回線 1 回線につき、GW-15P 1 台必要です。

※ 電話回線が 2 本以上ある場合は、以下のように GW-15P を接続します。



① モジュラーケーブルを接続する

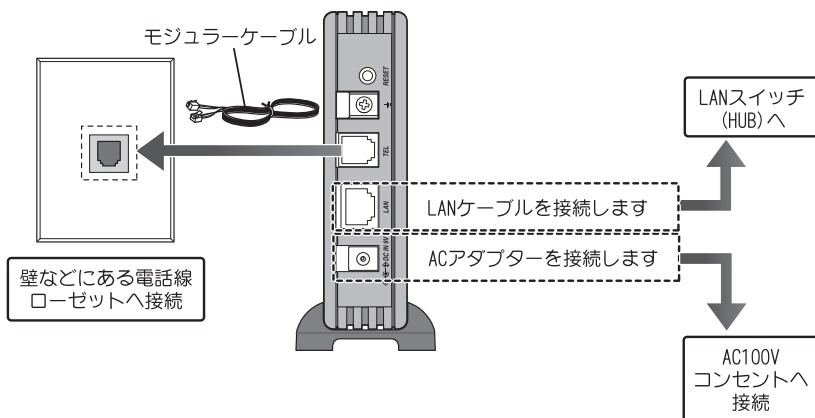
灰色の局線ゲートウェイ装置を付属のモジュラーケーブルで公衆電話回線に接続します。

② LANケーブルを接続する

LAN ケーブルを接続し、LAN スイッチに繋がります。

③ 電源を接続する

付属の AC アダプターを接続し、AC100V コンセントに接続します。



ご注意

- GW-15P の電源用 AC アダプターを間違えないように
ご注意ください。
GW-15P 用は AD-611 (DC9V 仕様) です。



GW-15Pの接続を確認する

① CxServer500 設定画面を開く

設定用 PC の Web ブラウザを起動して設定画面を開きます。

※ CxServer500 の初期設定終了後、設定用 PC がそのままの状態の場合は、手順② から始めます。

② 接続を確認する

【外線設定】を選択してすべての GW-15P が接続されていることを確認します。



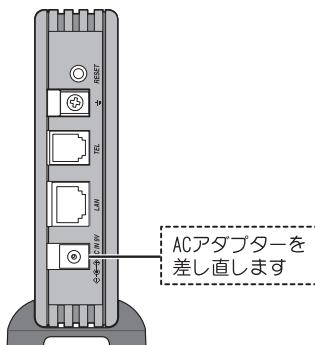
● 接続確認ができない場合は、確認できない GW-15P を再接続し、接続確認を行なってください。

GW-15Pの接続確認が終了したら

① CxServer500 の AC アダプターを一旦抜き、5 秒後に再度差し込みます。

② CxServer500 のステータスランプが消えることを確認します。

③ 90 秒後に、全端末(IP-150M/GW-15P)が再起動してからシステムが使用可能となります。



M-Phone FULL IP の動作確認

内線への発信確認をする

例：内線 2001 の電話機(IP-150M)を操作して、内線発信の動作確認をします。

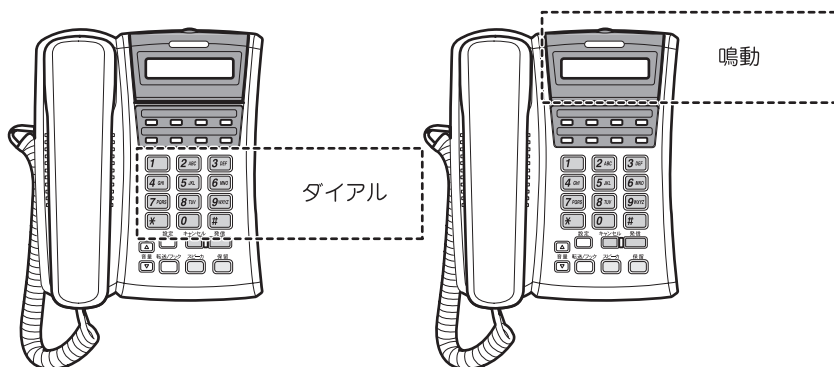
① 内線 2001 の受話器を取り上げる(またはスピーカボタンを押す。)

② 内線発信する

例：2・0・0・2 とダイヤルボタンを押します。

③ 受信する

内線 2002 の電話機が着信表示し、鳴ったら受話器を取り上げ、通話ができることを確認します。



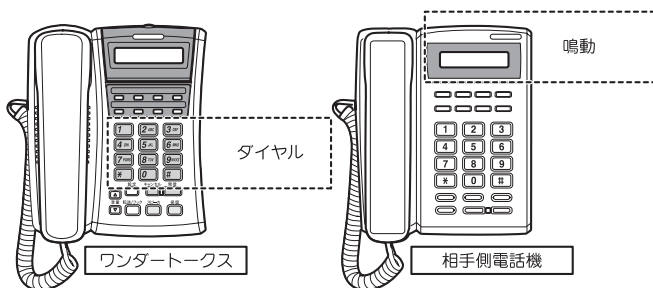
④ 受話器をおろします (またはスピーカボタンを押す)
すべての電話機に発信して動作を確認します。

⑤ 同様にして接続したすべての電話機の動作を確認してください。

外線への発信確認をする

例：内線 2001 の電話機(IP-150M)を操作して、外線発信の動作確認をします。
携帯電話など、M-Phone FULL IP を設置した番号とは別の番号の電話を用意します。

- ① 受話器を取り上げる（またはスピーカボタンを押す。）
- ② 外線を発信する
外線番号を市外局番からダイヤルし、**発信ボタン**を押します。
※**発信ボタン**を押すと、すばやい発信が可能です。
- ③ 受信する
相手側の電話機が鳴ったら電話を取り、通話ができることを確認します。
- ④ 受話器を置き、通話を終了する（またはスピーカボタンを押す。）
相手側の電話機が鳴ったら電話を取り、通話ができることを確認します。



- ⑤ 同様にすべての IP-150M から発信して動作確認をしてください。

外線からの着信確認をする

携帯電話など、M-Phone FULL IP を設置した番号とは別の番号の電話を用意します。

- ① IP-150Mに発信する
別の番号の電話（携帯電話など）から、M-Phone FULL IP を設置した回線の電話番号に電話します。
- ② IP-150Mで着信する
IP-150M が鳴ったら電話を取り、通話ができることを確認します。

M-Phone FULL IP の設定保存手順

下記の手順で保存します。

詳しい説明は 50 ～ 52 ページを参照してください。

- ① 管理画面を開く (50 ページ)
- ② ユーザー名、パスワードを入力する (50 ページ)
- ③ 管理ページを開く (50 ページ)
- ④ 左側メニューのその他の設定にある
[一括設定保存・読み込み]のメニューを開く (51 ページ)
- ⑤ [保存]ボタンをクリックする (51 ページ)
- ⑥ [保存]ボタンをクリックする (52 ページ)
- ⑦ 設定を保存する (52 ページ)
- ⑧ 設定をバックアップする (52 ページ)

M-Phone FULL IP の設定保存

動作確認が終わった段階で、現在の設定を設定用 PC に保存します。
保存したバックアップデータは、大切に保管してください。
将来、設定を変えた場合にもその都度設定をバックアップして保管してください。

① 管理画面を開く

設定用 PC の Web ブラウザを起動します。
Web ブラウザのアドレスバーに、以下のアドレスを入力して管理画面を開きます。

http://CxServer500 の IP アドレス

② ユーザー名、パスワードを入力する

右記のユーザ名、パスワードを入力して[OK]ボタンをクリックしてください。

ネットワーク パスワードの入力

ユーザー名とパスワードを入力してください。

サイト: 192.168.100.254

領域: .

ユーザー名(U): MEDIaUser

パスワード(P): *****

☐ このパスワードを保存する(S)

OK キャンセル

ユーザー名 MEDIaUser
パスワード MEDIaUser

③ 管理ページを開く

CxServer500 - Microsoft Internet Explorer

アドレス http://192.168.100.254/index.cfm?menuPhone

ステーション名称
Station20

ワンダートークス 管理ページ

バージョン情報 4.18

システム状態

機種	全機数	障害件数
Uniden IP-190M	5	0
Uniden GW-10T	0	0
Uniden GW-15P	0	0

再読み込み

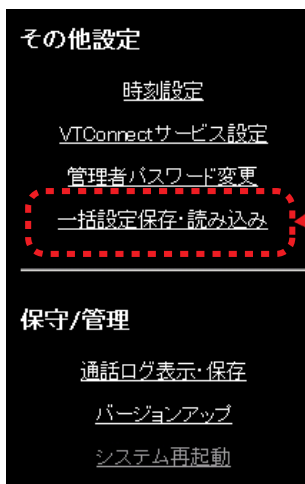
※ 推奨ブラウザ ※
Internet Explorer 6.0以上

Copyright (C) 2005 Uniden Corporation. All rights reserved.

ページが表示されました インターネット

④ 左側メニューのその他の設定にある [一括設定保存・読み込み]のメニューを開く

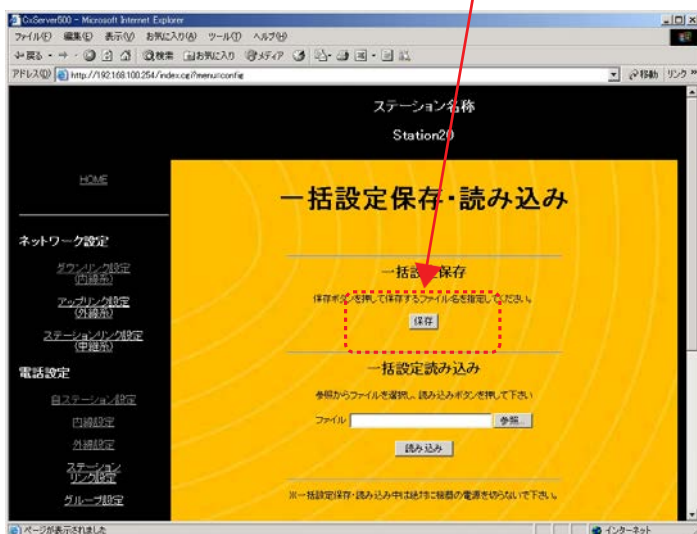
設定画面左側の下のほうにある[一括設定保存・読み込み]をクリックします。
画面上に見えない場合はブラウザのスクロールバーで画面を下に送ってください。



[一括設定保存・読み込み]を
クリックします。

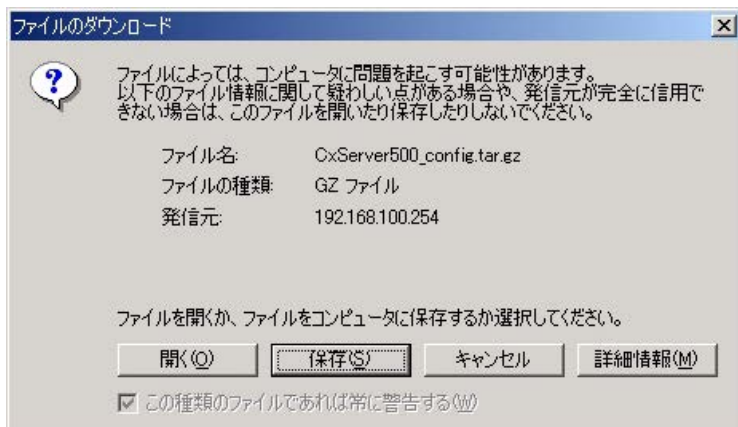
⑤ [保存]ボタンをクリックする

「全ての設定ファイルを保存します」の[保存]ボタンをクリックします。



⑥ [保存]ボタンをクリックする

[ファイルのダウンロード]メニューが開きますので、[保存]ボタンをクリックしてください。(画面表示はお使いのブラウザにより異なります。)



⑦ 設定を保存する

[名前を付けて保存]を選択し、保存します。

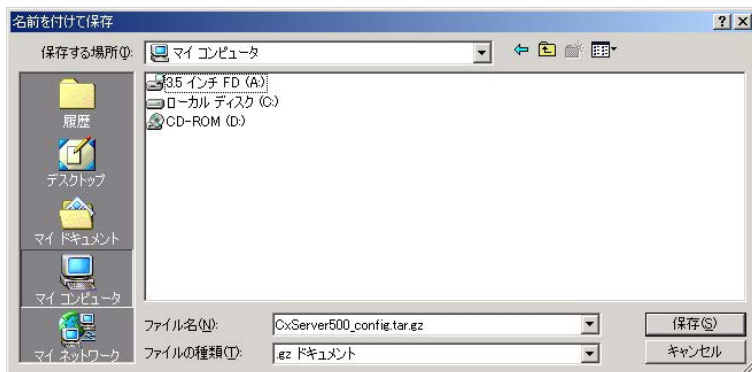
ファイル名は自動で付与されます (例: CxServer500.tar.gz)。

保存する場合は日付などを追加して書き換えてから保存することをおすすめします。

例: CxServer500_20050401.tar.gz

⑧ 設定をバックアップする

PC 上に保存した設定は、バックアップファイル等を作成して、設定内容を紛失しないよう、十分注意して保存・管理してください。



CHAPTER

3

～ 電話をかける・受ける ～

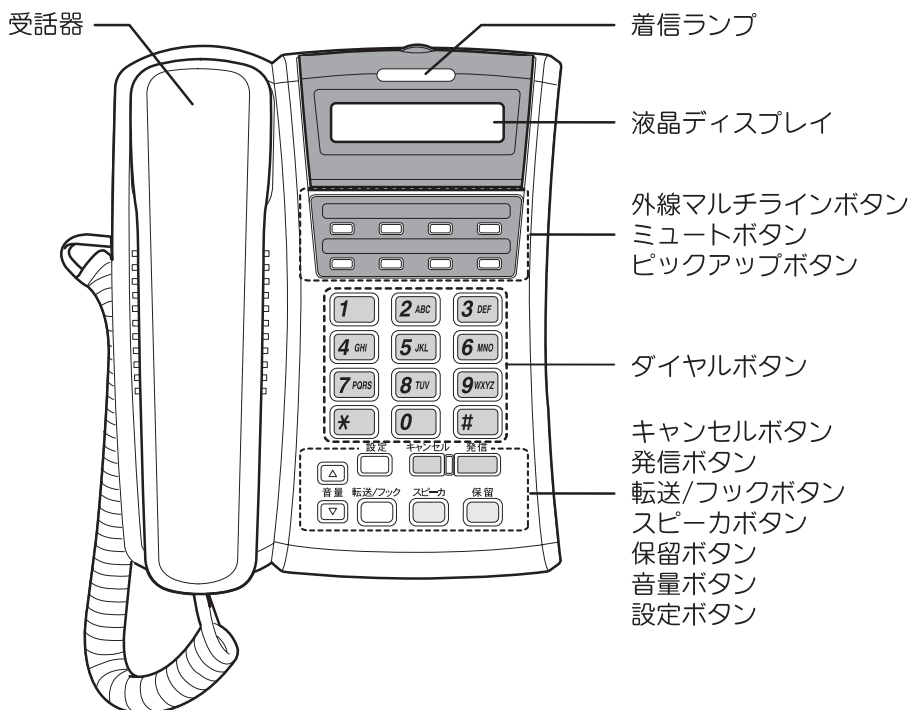
基本的な使いかた	54
電話機の操作ボタン	54
内線電話へかける	55
内線電話を転送する	56
外線電話を受ける	57
外線電話をパーク保留する	59
外線電話へかける（一般公衆回線電話やIP電話）	60
特番（110/119/177/117など）をかける	61
リダイヤルする	62
便利な使いかた	63
電話をかける（オンフックダイヤル）場合：	63
電話を受ける（ハンズフリー通話）場合：	64
内線グループ斉着信	65
不在転送	66
受話器のかけ忘れ・保留ボタンの解除忘れ警告	67

第3章 電話をかける・受ける

基本的な使いかた

電話機の操作ボタン

IP-150M 電話機の操作に使用する主なボタン等は下記のようにレイアウトされています。

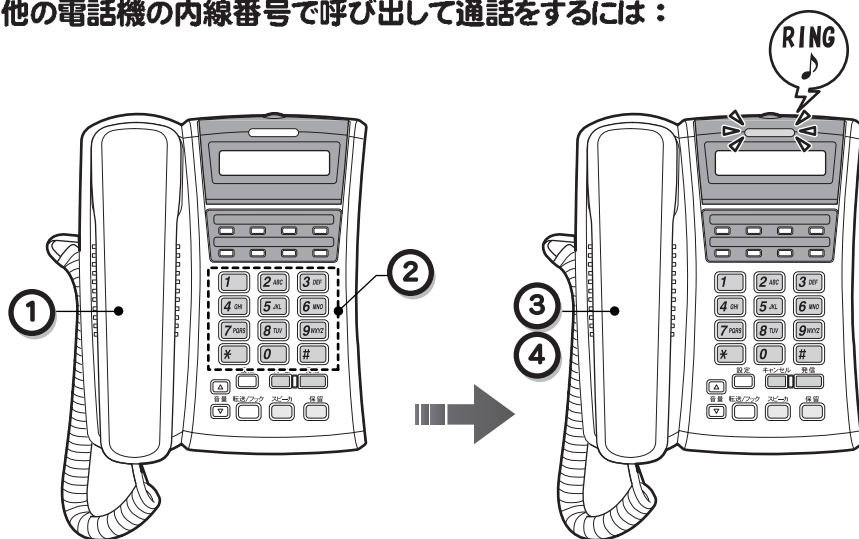


お知らせ

- 相手の声の大きさを調節したいときは…
通話中に音量▲または▼ボタンで調整します。
- 保留にしたいときは…
通話中に**保留**ボタンを押します。保留ボタンが点灯し、相手先には保留メロディー（植生の宿）が流れます。再度**保留**ボタンを押すと通話できます。
- 忙しくて手が離せないときは…
受話器を置いたまま話すことができます。（「オンフックダイヤル」63ページ参照。）
- ベル音を調節したいときは…
音量▲または▼ボタンで調整します。

内線電話へかける

他の電話機の内線番号で呼び出して通話するには：



① 受話器を取り上げる

② 内線へ発信する

ダイヤルボタンで呼び出す内線番号を押します。(②→①の手順でも呼び出せます。)

③ 受信する

呼び出された電話機が鳴り着信ランプが点滅するので、受話器を取り上げて会話をします。

- ・ 通話時間がLCDに表示されます。
- ・ 応答せずに放置しておくと、約3分後に呼び出しが次の電話に移ります。
- ・ グループ内のどの電話機でも呼び出し中に**ピックアップ**ボタンを押すと会話ができます。

④ 会話が終わったら、受話器を下ろす

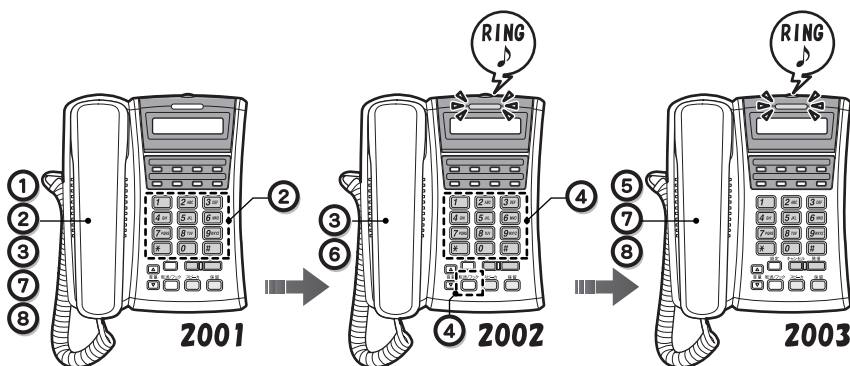


お知らせ

- 電話番号を押し間違えたときは
 - ・ 電話番号を間違えたときは、いったん受話器を置いてかけ直してください。
 - ・ また、**キャンセル**ボタンを押すと、取り消すことができます。

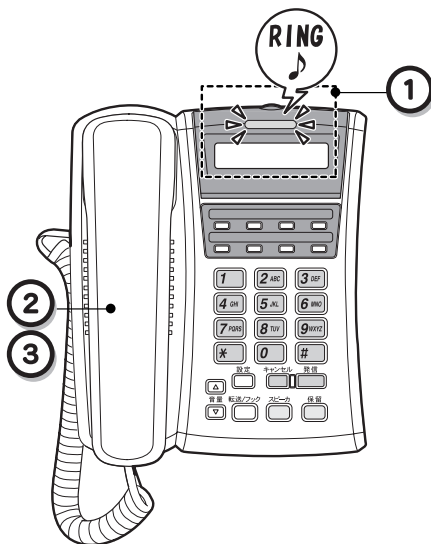
内線電話を転送する

例：内線2001から内線2002に電話をかけ、
次に内線2002から内線2003へ転送するには：



- ① 内線 2001 の受話器を取り上げる
- ② 内線へ発信する
2・0・0・2 の順番でダイヤルボタンを押します。
- ③ 受信する
内線 2002 の電話機が鳴り、着信ランプが点滅するので、受話器を取り上げて会話をします。
- ④ 転送する
内線 2002 の転送ボタンを押す。2・0・0・3 の順番でダイヤルボタンを押します。
- ⑤ 転送を受信する
内線 2003 の電話が鳴り、着信ランプが点滅するので、受話器を取り上げて内線 2002 と会話をします。
※内線 2001 には保留メロディー（埴生の宿）が流れます。
- ⑥ 内線 2002 が受話器を下ろす
- ⑦ 内線 2001 と内線 2003 で会話する
- ⑧ 会話が終了したら、受話器を下ろす
※外線電話も同じ手順で転送することができます。

外線電話を受ける



① 外線を受信する

代表電話機（最若番号の電話機）が鳴り、着信ランプが点滅する。他の電話機の着信した外線ボタンも点滅します。

② 受話器を上げて会話する

- ・ 順次鳴動の場合は最若番号が代表となりますが、グループ内すべての電話機でも着信ランプが点滅中に外線ボタンを押して通話することができます。
- ・ 代表番号が使用中の場合は、次の番号に着信します。また、サーバ設定によりグループ内のすべてに一斉着信させることもできます。（65 ページ参照）
- ・ 内線受信と外線受信の場合では着信音が異なります。

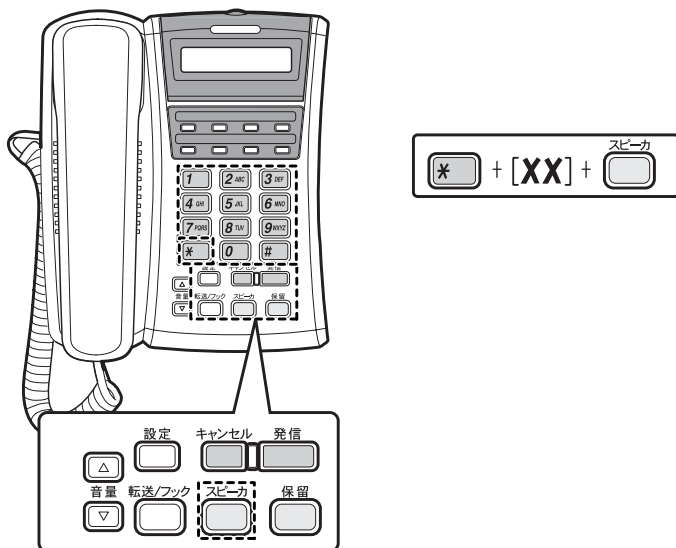
③ 会話が終わったら、受話器を下ろす

通話中の外線を他の内線電話に転送するには：

- ① 転送ボタンを押します。
- ② 転送先内線番号をダイヤルボタンで押します。
- ③ 転送先の相手と会話をします。
- ④ 受話器を下ろします。

● 短縮ダイヤルで外線電話をかける

設定方法は 68 ページを参照してください。



① 受話器を上げて発信する

受話器を上げます。

***** + **[XX]** (かけたい相手の短縮ダイヤル番号) を押します。



ご参考

- スピーカーホンで短縮ダイヤル発信するには

*****・かけたい電話番号の短縮ダイヤル番号 (2 桁) ・**スピーカ**ボタンの順に押します。

短縮ダイヤルに登録された電話番号に発信します。

受話器を取り上げて相手との会話ができます。

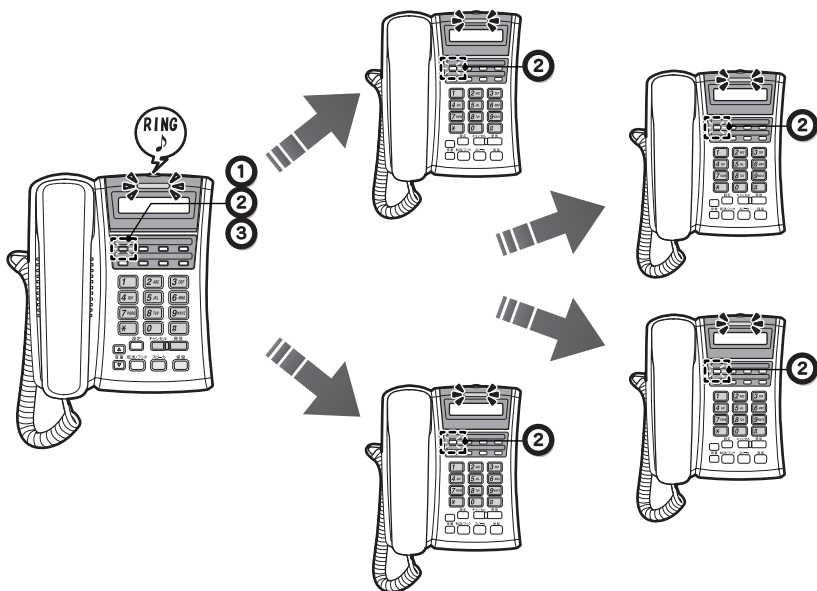
会話が終了したら受話器を下ろします。

外線電話をパーク保留する

通話中の電話機の該当外線ボタン（点灯）を押すと、パーク保留となります。

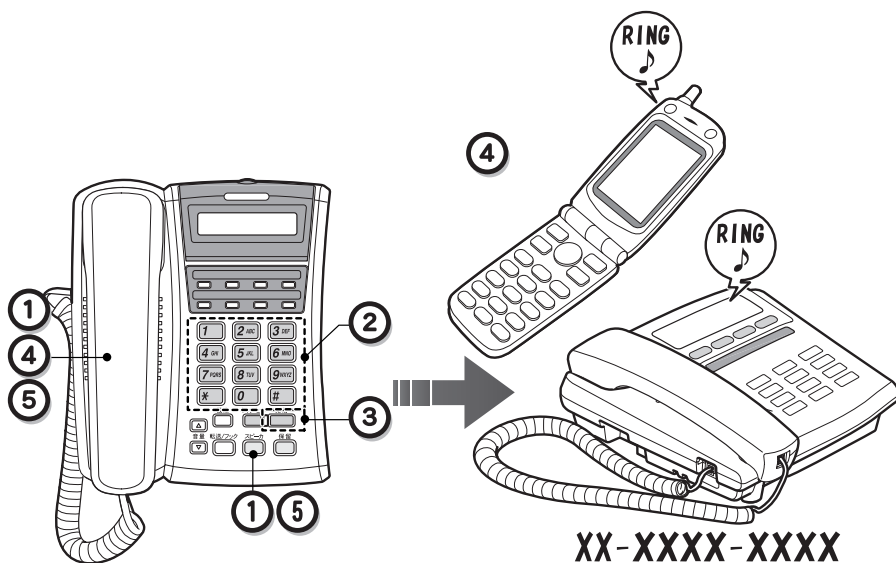
CxServer500 配下のすべての電話機の該当する外線ボタンが点滅し、パーク保留状態となります。

外線ボタンを使って保留転送をするには：



- ① 外線電話を受ける（57 ページの手順による）
- ② 通話中の外線ボタンを押す。（ボタンは点灯→点滅）
パーク保留状態となり、グループすべての該当する外線ボタンも点滅します。
- ③ 点滅中の外線ボタンを押して会話する
点滅中の外線ボタンが点灯になるので、通話相手と会話をします。
※点滅中グループ内のどの電話機からも点滅中の外線ボタンを押すと会話できます。
- ④ 会話が終わったら、受話器を下ろす

外線電話へかける（一般公衆回線電話やIP電話）

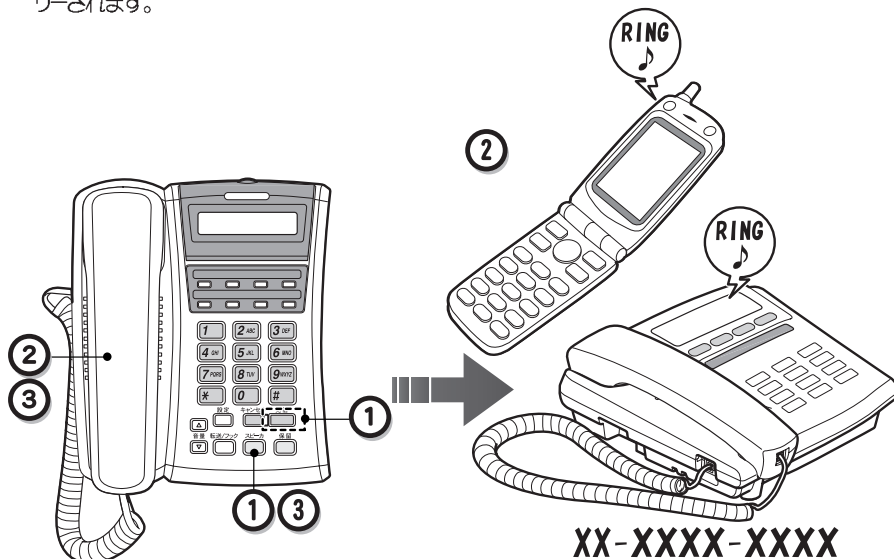


- ① 受話器を取り上げる（またはスピーカボタンを押す。）
- ② 市外局番からダイヤルする
「03 xxxx xxxx」の順番で市外局番からダイヤルボタンを押します。
- ③ 発信する
発信ボタンを押します。
※ 外線番号を押したあと、発信ボタンを押すとすぐに発信できます。
押さない場合は、4 秒後に発信します。
- ④ 会話をする
相手先電話機が鳴るので、受話器を取り上げて会話をします。
- ⑤ 会話が終わったら、受話器を下ろす（またはスピーカボタンを押す。）

リダイヤルする

最後に発信した番号をリダイヤルするには：

※ 一番最後にかけた発信番号や発信番号が呼び出し中または使用中となった場合にその番号がメモリーされます。



① 発信する

受話器を置いたまま、**発信ボタン**を2回（または、**発信ボタン**と**スピーカボタン**）押します。

② 会話をする

相手が出たらそのまま（または受話器を上げて）会話をします。

③ 会話を終える

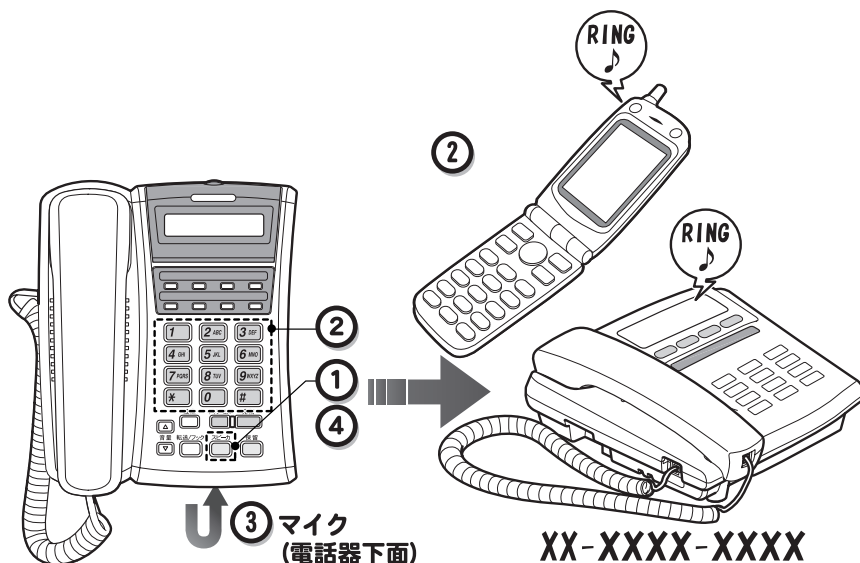
会話が終わったら、受話器を下ろします。（または**スピーカボタン**を押します。）

便利な使いかた

電話をかける（オンフックダイヤル）場合：

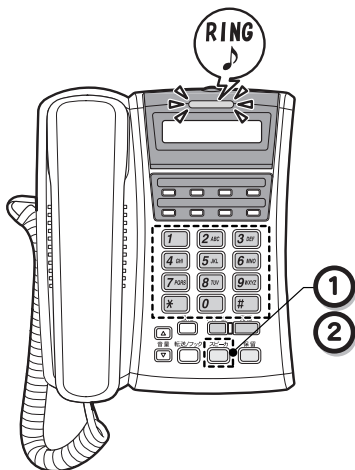
ハンズフリー通話はスピーカボタンを押すと、受話器を持たずに電話をかけたり（オンフックダイヤル）、受けたり（ハンズフリー通話）することができます。

多人数が会話する電話会議などに利用することができます。



- ① **スピーカボタンを押す**
「ツー」というトーン音が鳴り、スピーカボタンが点灯します。
- ② **発信する**
ダイヤルボタンで電話番号をダイヤルします。
押した数字がLCDに表示され、相手に発信されます。
- ③ **相手が出たら**
マイクに向かって話します。
- ④ **会話が終わったら**
スピーカボタンを押します。

電話を受ける（ハンズフリー通話） 場合：



① 電話がかかってきたら

スピーカボタンを押します。

スピーカボタンが点灯し、通話時間が表示されます。

※ 着信時、グループ内のどの電話機でもスピーカとピックアップ（または#・2・1）ボタンを押して電話を受けることができます。

② 通話が終わったら

スピーカボタンを押します。



お知らせ

- ハンズフリー中にミュートボタンを押すと、マイクがオフになり、相手にはこちらの音声は聞こえません。再度ボタンを押すとミュートが解除されます。通話相手に話しを聞かれないときなどに便利です。

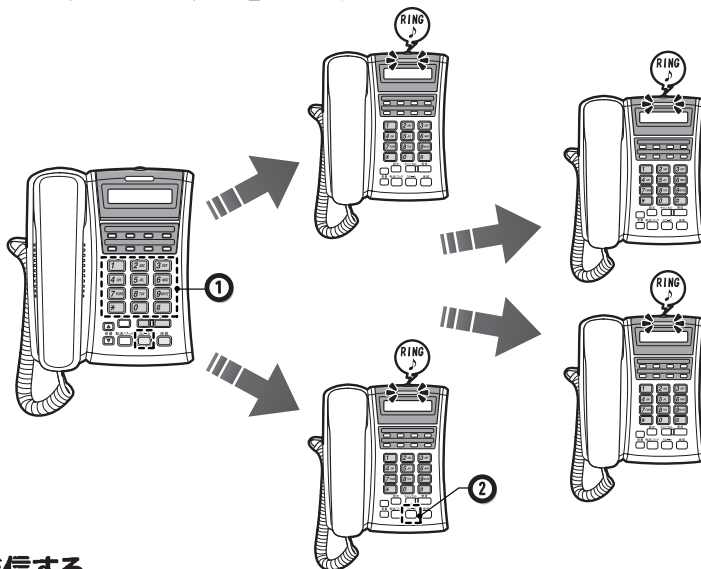


ご注意

- スピーカで通話しているとき、周囲の状況によっては、スピーカの音量を最大にするとハウリング（「ピー」という音が出る現象）が発生して、スムーズに通話できない場合があります。このようなときは本機の音量を小さくしてお使いください。

内線グループー斉着信

グループ内の電話機すべてを同時に着信させます。



① 発信する

グループ代表電話番号 **2・0・9・1** をダイヤルします。

→ 同グループ内のすべての電話機の着信ランプが点滅し、同時に鳴り出します。

② 受信する

受話器を取り上げる、または**スピーカボタン**を押します。

→ 呼び出し音が止まり、着信ランプが消灯し、会話できます。

最初に受信した電話機との二者通話ができます。他の電話機は通話（三者通話など）はできません。



ご参考

グループ代表番号は、次のようになっています。

例： " 2 0 9 1 "



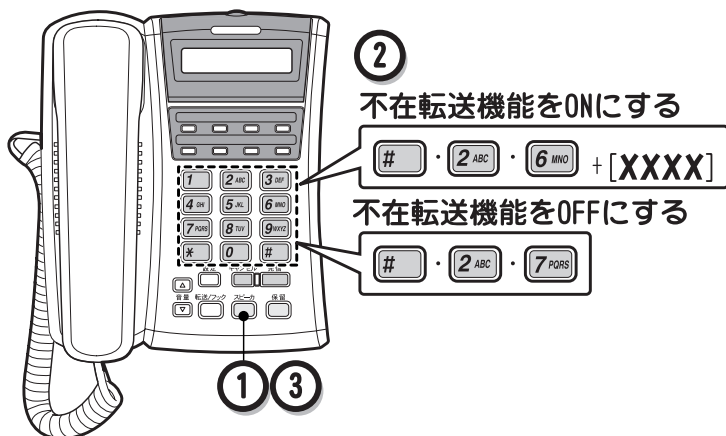
グループ "1" を表わします
("1" ~ "8" の計8種類)

グループ代表を表わします

端末上位のSIPサーバの番号
(20~69の計50種類)

不在転送

不在転送機能を用いると、着信電話があらかじめ設定したグループ内の内線番号に転送されます。
※休日や夜間等警備員事務所などに転送する場合等に使用します。



● 転送設定

- ① **スピーカボタンを押す**
不在転送を ON にします。
- ② **ダイヤルボタンで#・2・6 [XXXX] と押す**
この電話に着信すると、自動的に転送設定した電話機 [XXXX] に転送されます。
- ③ **スピーカボタンを押す**
ディスプレイに「フザイ セツテイチュウ XXXX(転送先電話番号)」と表示されます。

● 転送解除

- ① **スピーカボタンを押す**
不在転送を OFF にします。
- ② **ダイヤルボタンで#・2・7と押す**
不在転送機能は OFF となります。
- ③ **スピーカボタンを押す**
不在転送が解除されます。

受話器のかけ忘れ・保留ボタンの解除忘れ警告

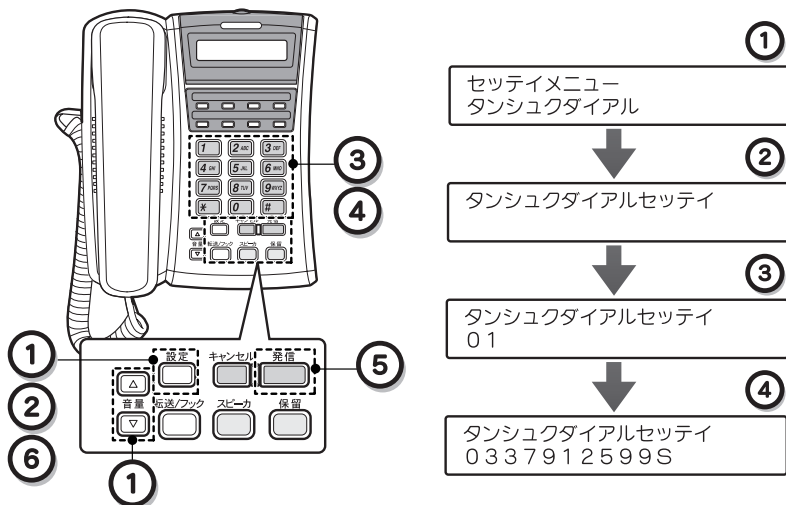
- IP-150M（電話機）で通話を終えてそのまま受話器をはずれたままにしておくと、話し中音（ビジー・トーン）が 30 秒間こえます。そのあと、「ピー」という大きな発信音（2000Hz）が 30 秒間こえます。この「ピー」音はハウラー音といい、ユーザーに受話器はずれを知らせる音です。

それでも受話器を置かない（ON フックしない）場合、電話機は「ロックアウト」状態（無音）のようになりますが、このときサーバ側ではこの電話機をアイドル状態（空き状態）として見ます。この電話機に他から着信があると、受話器はずれ状態のまま着信鳴動します。応答の仕方は、スピーカボタンを押してハンズフリー通話にしてから再度スピーカボタンを押し、受話器通話を行ないます。

- 通話中に保留ボタンを押したまま、1 分以上経過すると、長時間保留警告音「ピピッピピッ」が鳴動を開始し、「保留」ランプが早点滅し、忘れられた保留状態を保留者に警告します。スピーカまたは保留ボタンを押すと、通話状態に戻ります。

● 短縮ダイヤル設定

各電話機ごとに相手方の電話番号を短縮ダイヤルに登録できます。短縮ダイヤルには00～99まで100か所の電話番号を登録できます。



電話機に短縮ダイヤルの設定をします。(“00”～“99”)

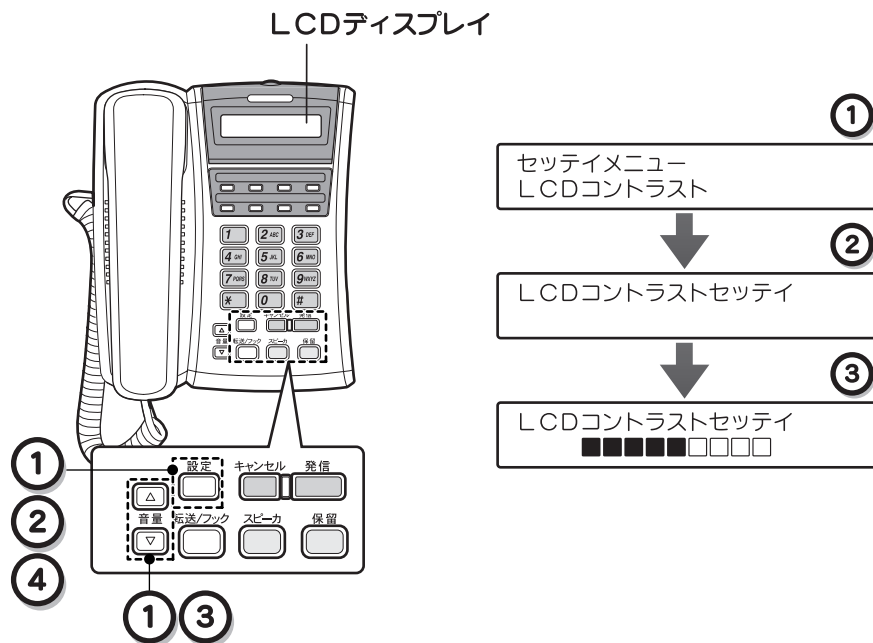
- ① 電話機の**設定**ボタンを押し、◆ ボタンを数回押し、「セッティメニュー・タンシユクダイヤル」を表示させます。
- ② **設定**ボタンを押します。
- ③ 登録する短縮ダイヤル番号2桁（00～99）の数字ボタンを押します。
- ④ 登録する電話番号（最大32桁）を押します。
- ⑤ **発信**ボタンを押します。（省略可能）
- ⑥ **設定**ボタンを押し、＜ブー＞という完了音が聞こえれば登録完了です。

！ ご注意

- 設定中の設定入力をキャンセルする場合
設定中、入力データを誤った時に**キャンセル**ボタンを押すと、設定を中止することができます。再度設定するときは、手順①から行なってください。

● LCDディスプレイのコントラスト調整

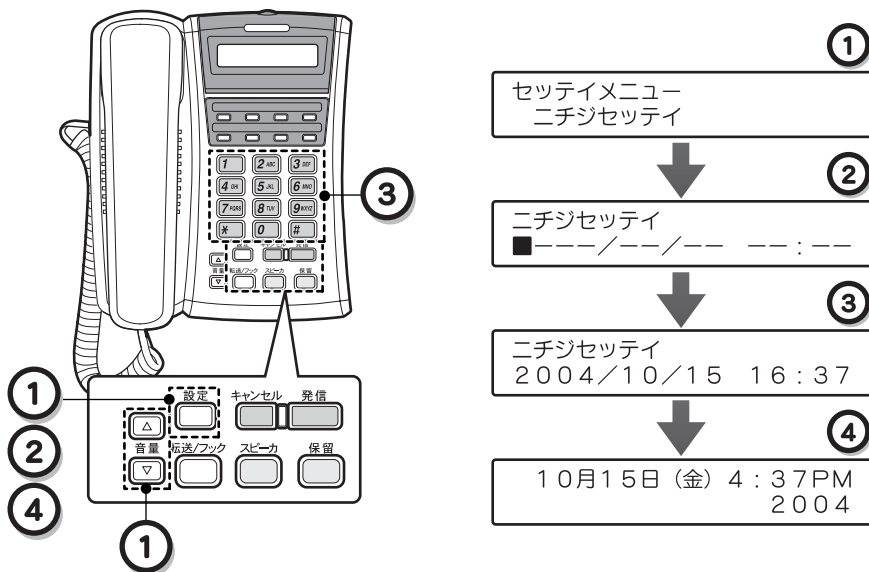
LCD ディスプレイの表示の明るさを調整できます。



- ① 電話機の**設定**ボタンを押し、◆ ボタンを数回押し、「セッテイメニュー・LCDコントラスト」を表示させます。
- ② **設定**ボタンを押します。
- ③ ◆ ボタンを押し、お好みの明るさに設定してください。(8段階の設定が可能)
- ④ **設定**ボタンを押します。＜ブー＞という完了音が聞こえれば、登録完了です。

● 電話機の日時設定

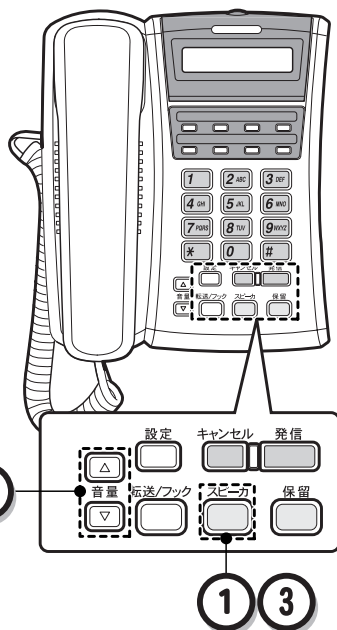
電話機からの日時の設定。(サーバ側設定で一括設定をおすすめします。114 ページ参照)



- ① 設定ボタンを押し、・◆ ボタンを数回押し、「セットメニュー・ニチジセッテイ」を表示させます。
- ② 設定ボタンを押します。
- ③ 西暦年月日時分を登録します。(例：2004年10月15日 16時37分)
- ④ 設定ボタンを押します。＜プー＞という完了音が聞こえれば、登録完了です。

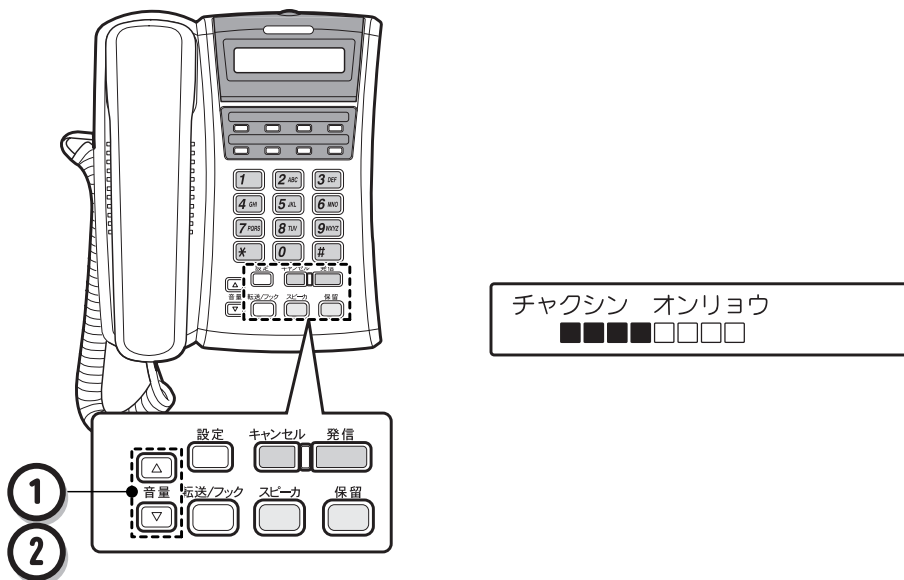
● 音量調節

「スピーカ」音量設定



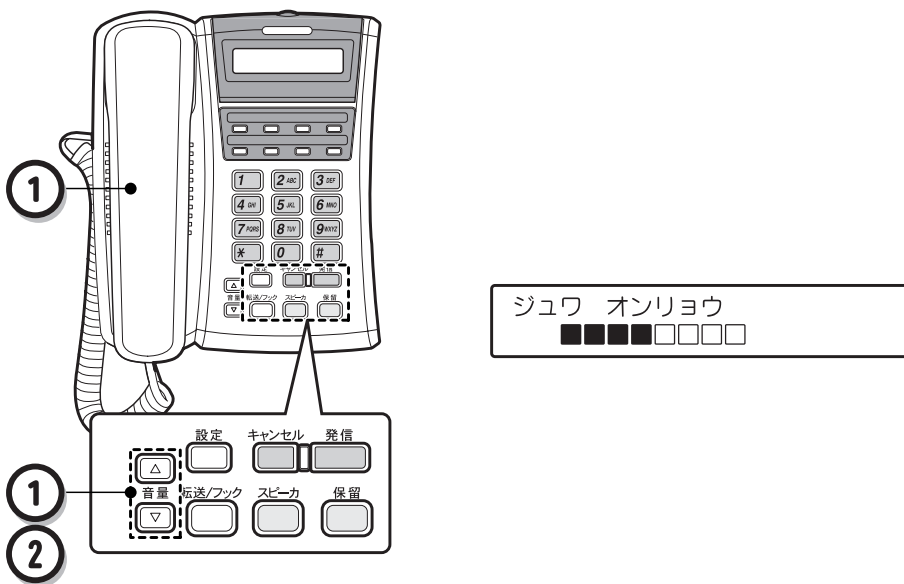
- ① スピーカボタンを押し、「スピーカ オンリョウ」を表示させます。
- ② ▲▼ボタンで、スピーカの音量を調節してください。
- ③ スピーカボタンを押します。(音量調節が完了し、LCD ディスプレイは通常表示に戻ります。)

「着信音量」設定



- ① ▲▼ボタンを押し、「チャクシン オンリョウ」を表示させます。
- ② ▲▼ボタンで着信音量を適度に調節してください。
- ③ 着信音を3回鳴らした後、自動的にLCDディスプレイは通常表示に戻ります。

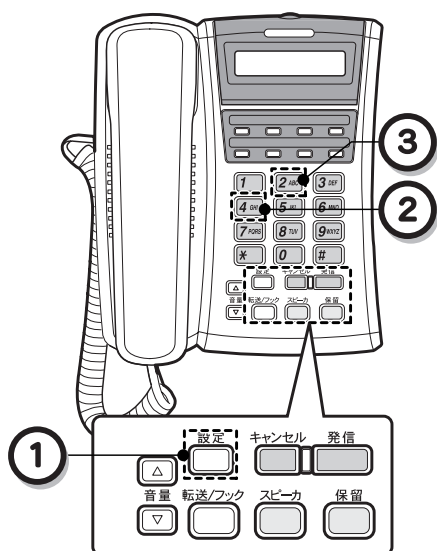
「受話音量」設定



- ① 電話機を取り上げ、▲▼ボタンを押し、「ジュワ オンリョウ」を表示させます。
- ② ▲▼ボタンで受話音量を適度に調節してください。
- ③ 自動的にLCDディスプレイは通常表示に戻ります。

● その他設定

ライン接続エラー表示解除



ラインセツゾクエラー

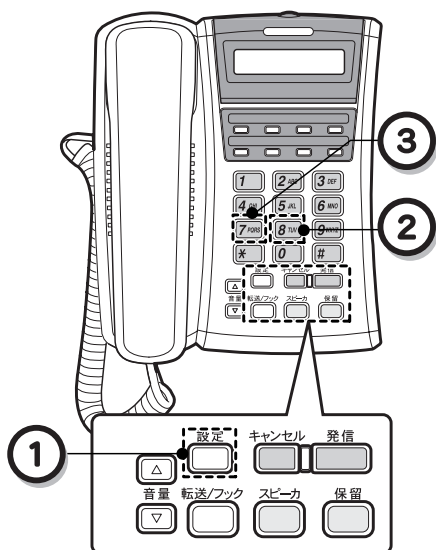
固定IPでIP-150Mを運用する場合、LANケーブルを接続していないと**【ラインセツゾクエラー】**の表示がLCDに表示されます。この状態を解除し、キー入力を有効にするには以下のボタンを順に押します。

① 設定

② 4

③ 2

ファームウェアのバージョンを知りたい



バージョン
Ver 3.42

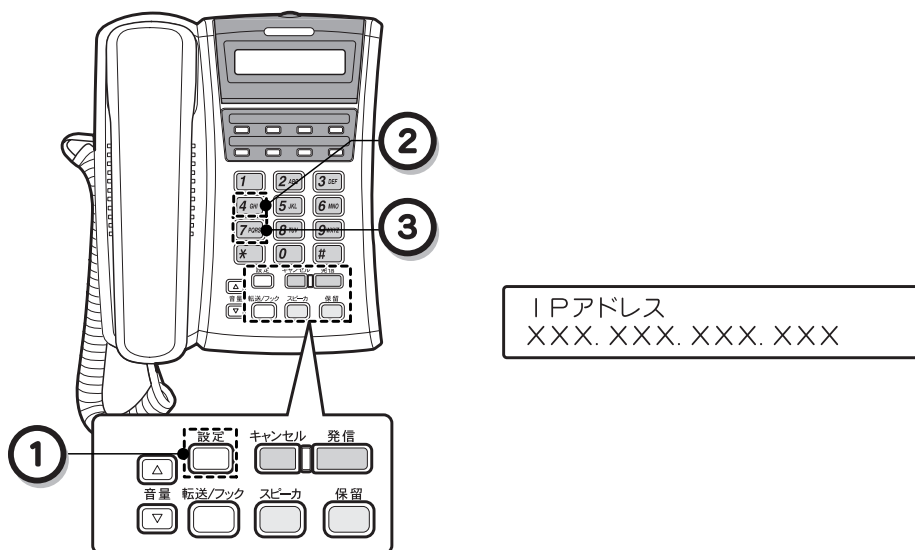
以下のボタンを順番に押すことでLCD画面に表示されます。

- ① 設定
- ② 8
- ③ 7

表示を消したいときは、**キャンセル**を押します。

電話端末のIPアドレスを知りたい

本機の IP アドレスを知るには



電話端末に割り当てられている IP アドレスを知るには、以下のボタンを順番に押します。
LCD ディスプレイ上に本機の IP アドレスが表示されます。

- ① 設定
- ② 4
- ③ 7

表示を消したいときは、**キャンセル**を押します。

CHAPTER

4

～ サーバ設定 (Web上のデータ設定) のしかた ～

Web上のデータ設定	96
自動設定（オートコンフィグレーション機能）	96
故障対応機能	97
動作条件	99
データ設定・ネットワーク設定	100
ダウンリンク設定	100
アップリンク設定	101
ステーションリンク設定（中継系）	102
自ステーション設定	103
データ設定・電話設定	104
内線設定	104
外線設定	106
ステーションリンク設定	111
ステーションリンクの設定例	112
グループ設定	113
時刻設定	114
管理者パスワード変更	116
一括設定保存・読み込み	117
通話ログ表示・保存	118
バージョンアップ	119

第5章 サーバ設定 (Web 上のデータ設定) のしかた

Web上のデータ設定

「MPhone FULL IP」の設定は、一般のIP電話システムに見られるように、各電話機やゲートウェイ（24ページ「用語集」参照）およびサーバにそれぞれコンフィグデータを設定するのではなく、サーバ（CxServer500）にすべてのコンフィグデータを設定します。

各端末やゲートウェイへの設定は、自動設定（オートコンフィグレーション機能）を利用して、自動的に書き込みます。

自動設定（オートコンフィグレーション機能）

● 自動設定を行なうための基本事項

DHCPサーバを利用する

既存のネットワークにDHCPサーバ（24ページ「用語集」参照）が存在する場合は自動的にCxServer500がDHCPクライアントとして動作します。また、既存のネットワークにDHCPサーバがない場合は、CxServer500をDHCPサーバとして動作させることができます。

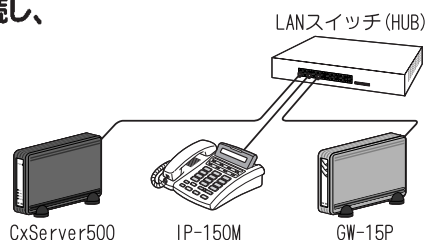
自動設定時にCxServer500からコンフィグデータを受け取る端末やゲートウェイ等は、CxServer500と同じブロードキャストドメイン内に存在している必要があります。

（ルータやフィルタ・NAT等が存在しないこと。）

● 自動コンフィグレーション設定手順（第2章をご参照ください）

LANにCxServer500を接続し、電源をONにします。

起動したらサーバ裏面のリセットスイッチを3秒程度長押しし、端末登録モードにします。



LANに端末（IP電話、端末GW、アナログ局線GW）を接続し、電源をONにします。

⇒ CxServer500の自動設定機能により、端末等の登録・設定を行います。

※ デフォルト設定以外の設定が必要な場合は、CxServer500にパソコンよりブラウザで入り、そのWeb画面にて自由に設定を行います。

（CxServer500の初期設定、28ページ参照）

故障対応機能

● LANケーブル抜け検出

電話機（IP-150M）のLANケーブルが何らかの原因で抜けた場合、5 秒程度で検出して、「ラインセツゾク エラー」と表示されます。

LAN ケーブルが挿入されると、5 秒程度でエラー表示が消えて待機状態に戻ります。

このとき、ラインキーは一旦すべて点灯となり、LAN ケーブル復帰で状態を再び取得して元の状態表示となります。

● DHCPエラー検出

電話機（IP-150M）の電源を ONした時に DHCP 情報取得ができなかった場合、「DHCP シュトク ミツパイ」と表示されます。そして、90 秒後に自動的にリブートがかかり、再度 DHCP 情報を取得にかかります。（以後、情報取得ができるまで同じ動作を繰り返します。）

● 自動設定失敗

電話機を LAN に接続して電源を ONにし、一定時間経過しても CxServer500 を認識なかった場合、「ネットワークトウロク エラー」と表示されます。そして、一定時間後に自動的にリブートがかかり、再度サーバを探します。（以後、成功するまで繰り返します。）

また、システム全体が正常に動作している状態から、何らかの原因（電源 OFF、LAN ケーブル抜け等）で CxServer500 が電話機側から見えなくなった場合、「ネットワークトウロク エラー」と表示されます。

端末 GW および局線 GW は STATUS LED に表示されます。

● Web画面での端末状態（ステータス）表示

システム全体が正常に動作している状態から、何らかの原因（電源 OFF、LAN ケーブル抜け等）で端末側（IP 端末、端末 GW <白（オプション）>、局線 GW）が CxServer500 から見えなくなった場合に、該当端末が CxServer500 の Web 設定画面上に「異常」のステータスで表示されます。

意図的に端末を撤去する場合は、必ず Web 上で削除を実行してください。

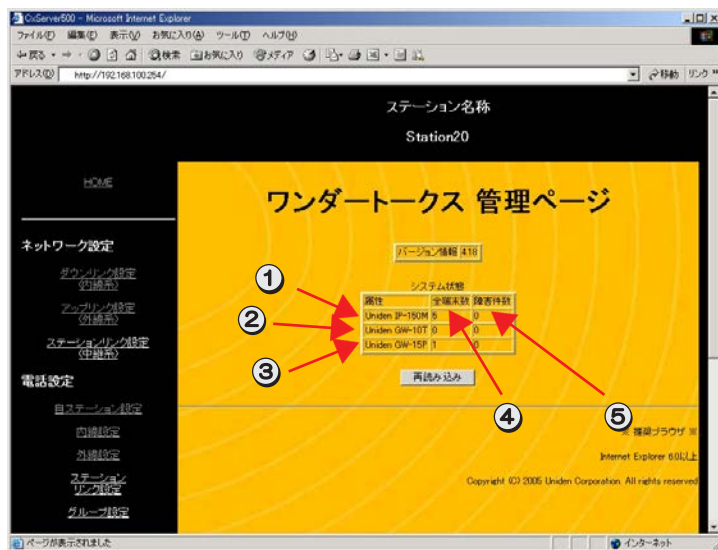
● 通話ログ取得

CxServer500 の Web 画面から通話ログの参照およびテキストファイルでの保存ができます。

● システム状態

CxServer500 の Web 画面から MPhone FULL IP のシステム全体（接続されている端末の数、故障状況等）の状態が管理・監視できます。

画面はシステム全体の状態を表示しています。



① Uniden IP-150M

② Uniden GW-10T

③ Uniden GW-15P

④ 全端末数

⑤ 障害件数

動作条件

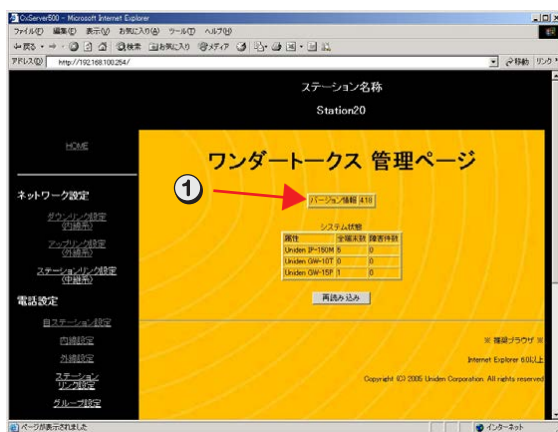
サーバとパソコンの接続

- 1) Windows のネットワーク接続を開き、**【ローカルエリア接続】**を右クリックし、「プロパティ」画面を開きます。
- 2) 「TCP/IP」の「プロパティ」画面で、**【次のIP アドレスを使う】**をクリックし、IP アドレスとサブネットマスクの設定を行います。
IP アドレス： 使用するサーバと同じプライベートネットワークの任意の空きアドレスに設定します。
 192.168.100.100 などに設定してください。
「MPhone FULL IP」では
IP アドレス： 192.168.100.254
サブネットマスク： 255.255.255.0 をデフォルトで使用しています。
- 3) サーバ設定用パソコンをサーバ（CxServer500）と同一ブロードキャストドメインの LAN に、LAN ケーブルで接続します。
- 4) Internet Explorer のアドレス欄に CxServer500 の IP アドレスを投入し、サーバの HOME 画面に入ります。
- 5) 下図のように、サーバの HOME 画面が表示されます。



ご注意

- Internet Explorer は 6.0 以上、Netscape Navigator は 7.1 以上を推奨いたします。



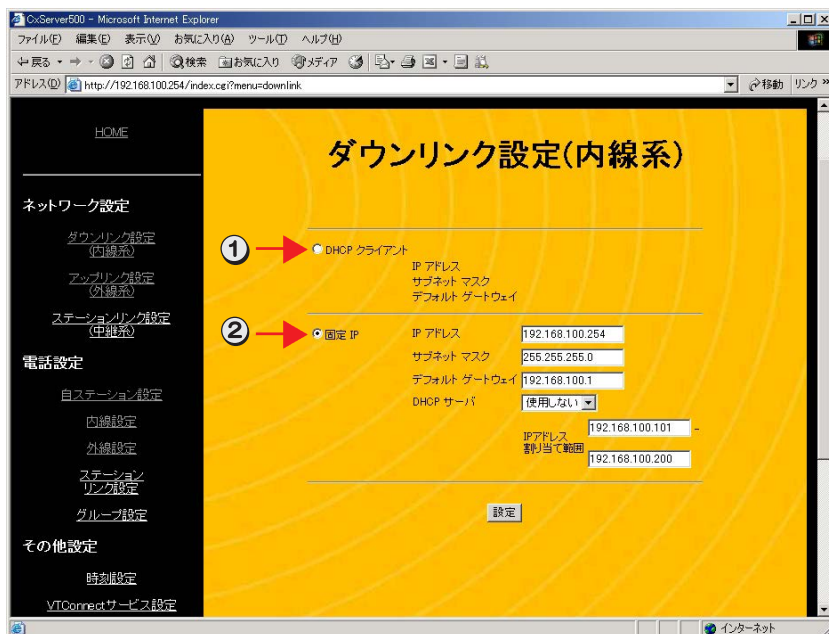
ユーザー名(U) MEDiAUser
パスワード(P) MEDiAuser
マスクされて表示します。

- ① バージョン情報
サーバのファームウェアバージョンが表示されます。

データ設定・ネットワーク設定

ダウンリンク設定

ダウンリンクの設定は、CxServer500 自身のインタフェース（IP アドレス等）を定義しています。



① DHCP クライアント

CxServer500 はデフォルトではDHCP クライアントとして起動します。
DHCP サーバからネットワーク情報を取得できた場合、DHCP クライアントの欄に各情報が表示されます。

② 固定 IP（推奨）

固定 IP を選択した場合は IP アドレスを設定します。

※ DHCP サーバは、同一ネットワーク内に BB ルータなど他の DHCP サーバがない場合に**【使用する】**の設定を行います。

DHCP サーバを**【使用する】**にした場合、IP アドレスの割り当て範囲を指定しておきます。

アップリンク設定

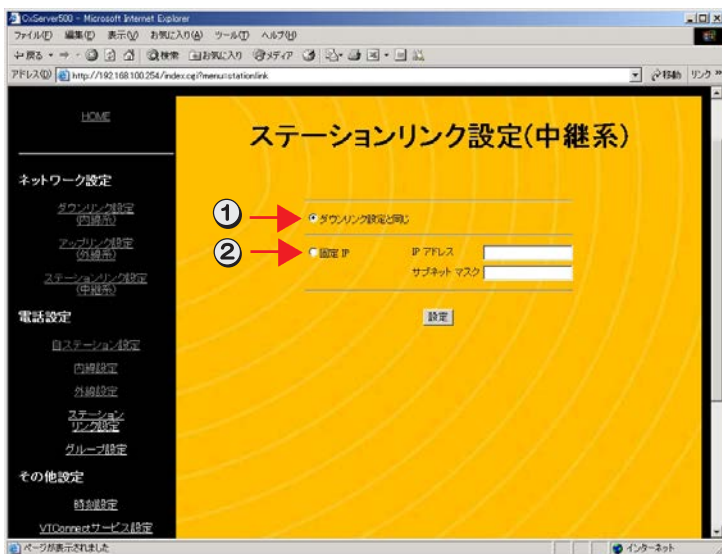
アップリンク用の IP アドレスとは IP 電話サービスのために使用する IP アドレスのことです。このアドレスには、**【ダウンリンク設定と同じ】**(デフォルト)、**【固定 IP】**(仮想 IP)などを設定することができます。当パラメーターの設定は、ご利用の IP 電話サービスによりそれぞれ異なる設定となります。IP アドレスの設定は、ネットワーク構成を充分にご理解の上、正しく動作するように設定を行ってください。



- ① ダウンリンク設定と同じ (デフォルト)
アップリンクの設定は、外線接続 (IP ダイレクト、局線ゲートウェイ経由) へのネットワークインタフェース (IP アドレス等) を設定します。
ダウンリンクと同じである場合は、**【ダウンリンクと同じ】**のオプションを選択します。
- ② DHCP クライアント
CxServer500 の IP 電話サービス用 IP アドレスを DHCP で取得するように指定されている場合に設定します。
- ③ 固定 IP
CxServer500 の IP 電話サービス用 IP アドレスを固定 IP に設定するように指定されている場合、このオプションを選択します。IP アドレスおよびサブネットマスクは MEDIA 指定の数値を入力します。

ステーションリンク設定 (中継系)

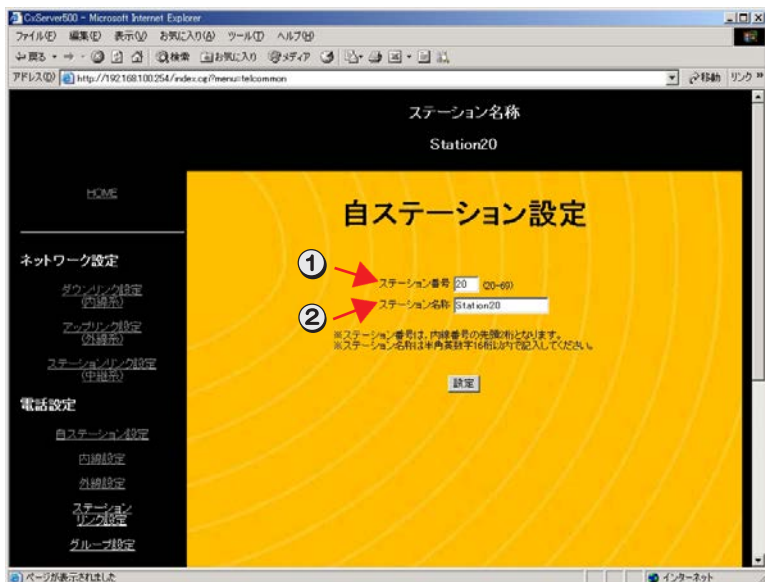
ステーションリンク用の IP アドレス。このアドレスには、**【ダウンリンク設定と同じ】**(デフォルト)、**【固定 IP】**(仮想 IP)などを設定することができます。IP アドレスの設定は、ネットワーク構成を充分にご理解の上、正しく動作するように設定を行ってください。



- ① ダウンリンク設定と同じ (デフォルト)
通常は、実アドレスを使用しますので**【ダウンリンク設定と同じ】**のオプションを選択します。
- ② 固定 IP
IP アドレスとして仮想の固定 IP を設定しなければいけない場合はこのオプションを選択します。
仮想 IP アドレスおよびサブネットマスクを入力します。
IP アドレスの重複がおきている場合にこの設定を行ない、問題を回避します。

自ステーション設定

端末およびサーバの基本設定です。



① ステーション番号

このサーバが受け持つ 48 台までの電話番号の上 2 桁を設定します。

(例)

20 に設定した場合 2000 番台

21 に設定した場合 2100 番台

② ステーション名称

管理画面上に表示されるステーション名称を設定します。

設置場所名、番号体系などを反映した名前を付けるとよいでしょう。

デフォルトでは、シリアル No. の下 8 桁が入ります。

(例)

Station20

データ設定・電話設定

内線設定

内線番号の基本設定です。



① 端末番号（ポート番号）

1サーバに収容できる端末（1～48）の番号を表します。自動コンフィグレーションの場合、端末番号がそのまま内線番号の下2桁となります。

② ステータス（状態）

各収容端末の状態を表示します。
（正常、異常（リンクダウン等）、未接続等の表示）

③ 内線番号

端末の内線番号を表示します。
内線番号が変更された場合は、新たに指定された内線番号を登録なおします。

④ MACアドレス

登録されている端末のMACアドレスを表示します。
MACアドレスを変更した場合、自動コンフィグレーションで登録された端末は削除となり、代わりに指定されたMACアドレスの端末を探して自動登録します。

※内線設定 ⑤～⑧ は次のページに続きます。



⑤ IP アドレス

登録されている端末の IP アドレスを表示します。

IP アドレスを変更した場合、自動設定により MAC アドレスを基に指定された端末の IP アドレスを登録なおします。

⑥ 内線グループ

着信時の鳴動グループを設定します。

端末毎に内線グループを選択するメニュー（プルダウン）が表示されるので、個々に内線グループ（1～8）を選択指定します。

⑦ 端末種別（属性）

各端末の種別に応じた端末属性を指定します。基本的には自動入力されます。

⑧ 端末の削除

端末が故障等でネットワークから外れた場合、各端末の削除ボタンを用いて登録の解除を行います。

削除されずに登録状態が残っているリストには、自動コンフィグレーションで新たな端末の登録がされません。

外線設定

外線番号の基本設定です。GW-15P および IP 電話サービス設定を行ないます。



- ① ポート番号 (Line 番号)
外線の番号を示します。
端末 (電話機) の外線ボタン (ラインキー: 1 ~ 6) にそのまま対応します。
外線 1 に着信した場合、「外線ボタン」が点滅します。
- ② ステータス (状態)
各外線 (回線) の状態を表示します。(CxServer500 は定期的に確認を行っています。)
● IP 直収 : レジストレーションエラー等
● IP 外線 PBX/GW 経由・PSTN 外線直収: アナログ局線ゲートウェイのリンクエラー等
- ③ 外線番号
該当ポートの外線の電話番号を指定します。
- ④ ダイヤルイン番号
ダイヤルインを設定する場合、ダイヤルイン先の内線番号を指定します。
- ⑤ 外線属性
PSTN GW 回線(0 発信 9 発信)や各社 IP 電話サービスを表示します。
- ⑥ 変更
登録内容を変更する場合に使用します。
- ⑦ 削除
ポート番号に対応する外線設定を未登録とします。

外線設定 (つづき)

外線設定の画面から、未設定の行で**変更**ボタンを押した場合の表示です。



① 外線属性 プルダウンメニュー

- IP-Phone 回線 IP-Phone サービスの設定を行います。
- PSTN GW回線(9 発信) GW-15P 経由で、外線発信をする際に「9」を先頭にプッシュする場合に選択します。

② 【次へ】をクリックし、次のページに進みます。

外線設定 (つづき)

外線設定の画面から、IP-Phone 回線の設定を行なう選択をした場合の表示です。

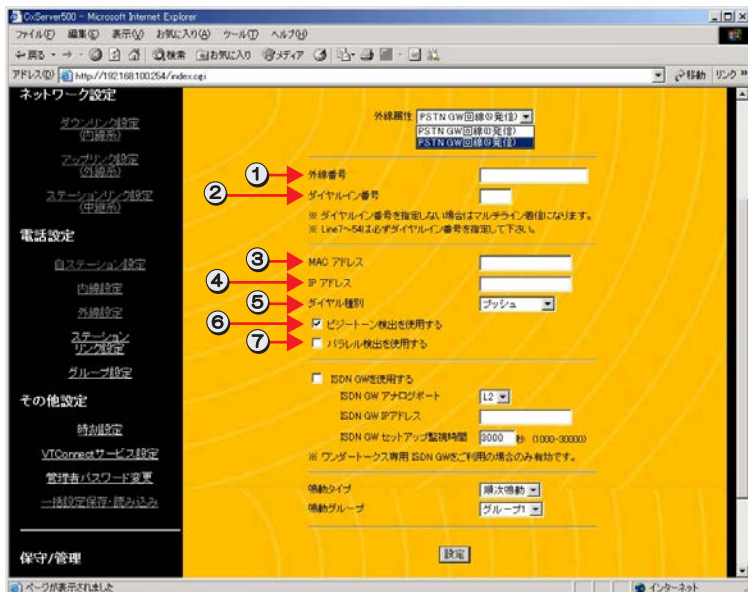


IP 電話網サービスに加入した場合、こちらの画面から設定を行なうことにより、IP 電話網サービスを利用できるようになります。登録内容は各 IP 電話サービス会社から配布される接続資料に従ってください。

① 外線番号	: IP 電話サービスで使用する電話番号 (MEDIA 指定)
② ダイヤルイン番号	: ダイヤルインで使用する内線番号 (お客様指定)
③ 認証ユーザ名	: SIP 認証のためのユーザ名 (MEDIA 指定)
④ 認証パスワード	: SIP 認証のためのパスワード (MEDIA 指定)
⑤ REGISTER 間隔	: サービス業者指定の数値
⑥ 鳴動タイプ	: 順次鳴動・一斉鳴動 (お客様指定)
⑦ 鳴動グループ	: 着信時に鳴動するグループ (お客様指定)

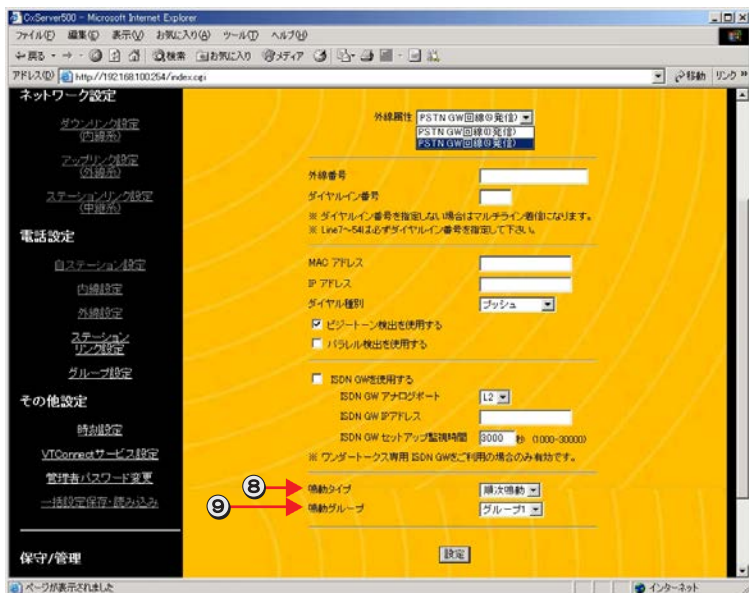
外線設定 (つづき)

外線設定の画面から、PSTN GW 回線の設定（アナログ回線設定）を行なう選択をした場合の表示です。



① 外線番号 た	GW-15P が接続されている回線の外線番号または GW 番号を入力します。
② ダイヤルイン番号	ダイヤルインを設定する場合、ダイヤルイン先の端末の内線番号を入力します。
③ MAC アドレス	GW-15P の MAC アドレスを入力します。 基本的には自動入力されます。
④ IP アドレス	GW-15P の IP アドレスを入力します。 基本的には自動入力されます。
⑤ ダイヤル種別	プッシュ・パルス 20pps・パルス 10pps から、回線の契約にあわせた種別を選択します。
⑥ ビジートーン検出を使用する	ビジートーン検出機能を使用しない場合には、チェックをはずします。
⑦ パルス検出を使用する	1 本の電話回線に、2 台の機器(GWとFAXなど)を パラレル接続する場合にチェックします。

※外線設定（つづき）の ⑧ ～ ⑬ は次のページに続きます。



⑧ 鳴動タイプ

- 順次鳴動 グループの若い番号から順番に、1 台だけが鳴動します。話中の場合は次の番号の端末が鳴動します。
- 一斉鳴動 グループの端末が一斉に鳴動します。

⑨ 鳴動グループ

鳴動する内線グループを選択できます。(グループ 1 ～ 8)

ステーションリンク設定

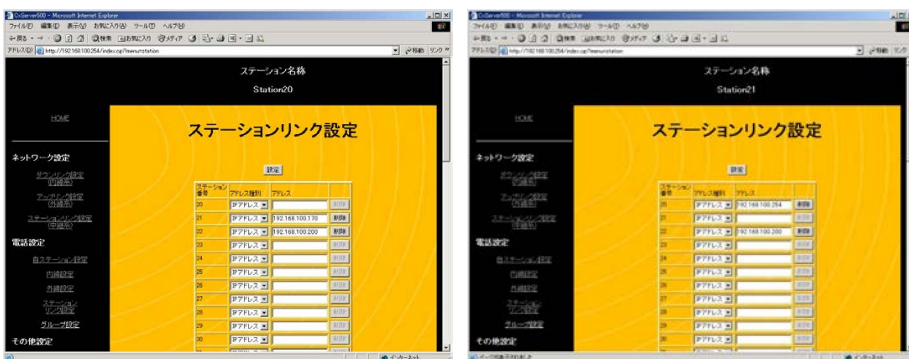
ステーションリンクを行なう相手先 CxServer500 の IP アドレスを設定する画面です。



お客様の設計した番号計画に基づき、各 CxServer を設定したのちにこの画面でステーションリンク設定を行います。

①	ステーション番号	ステーションリンクする内線上2桁の番号です。
②	アドレス種別	IP アドレスに固定です。
③	アドレス	ステーションリンクしたい CxServer の IP アドレスを入力します。この設定は複数の CxServer すべてに行なう必要があります。

ステーションリンクの設定例



20xx番台サーバの設定

30xx番台サーバの設定

※ ネットワークの中に複数台の CxServer500 がある場合は、各 CxServer の「ステーションリンク設定」の項目に、すべての CxServer の IP アドレスを記入して同一の設定にすることで、別サーバ間でも内線発着信が可能になります。

この場合、CxServer に割り当てる内線番号および IP アドレスは重複しないように設定を行なう必要があります。

グループ設定

着信時に、着信した電話が通話中だった場合の動作を設定します。



① 内線通話中転送設定

- ・ON 着信先が通話中だった場合に電話着信を振り替えます。同一グループ内の次の若番に着信します。
- ・OFF 発信者に BUSY トーン(お話中)を返します。

② ダイヤルイン通話中転送設定

- ・ON 着信先が通話中だった場合に電話着信を振り替えます。同一グループ内の次の若番に着信します。(GW-10T は ON のみ)
- ・OFF 発信者に BUSY トーン(お話中)を返します。

時刻設定

IP-150MのLCDの時計表示、およびCxServer500の通話ログ等を使用される内部時計の設定を行います。



IP 電話機の LCD に表示する時刻情報の設定を行います。

①	NTP による時刻取得	： 【使用する】・【使用しない】 を選択します。
②	NTP サーバアドレス	： 組織内部で用意されている NTP サーバの IP アドレス、またはインターネットの公開 NTP サーバの IP アドレスを指定してください。 インターネットの公開 NTP サーバのアドレスを使用する場合は、ネットワーク的に近い距離で、なおかつ負荷の低いサーバを選んでください。 ※ 使用できるのは IP アドレスのみです。CxServer は DNS に非対応のため、FQDN(サーバ名)による指定は使用できません。
③	手動設定	： NTP を利用しない場合に、手動で現在の日時設定を行ないます。

管理者パスワード変更

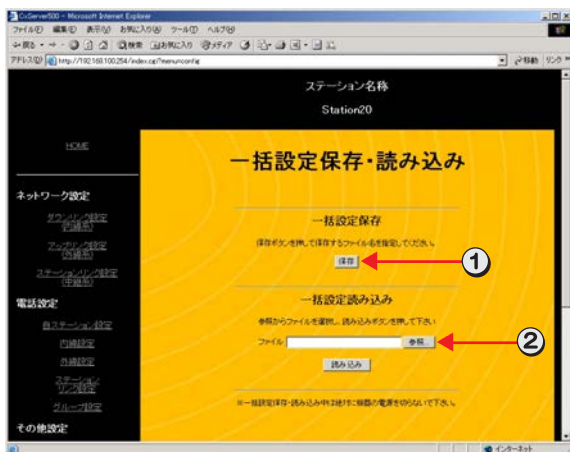
Web 管理画面にアクセスするためのユーザー名とパスワードを変更します。



① ユーザー名	: 接続ユーザー名を変更します。 デフォルト値は「MEDiAUser」です。
② 古いパスワード	: 現在のパスワードを入力します。入力は「*」で マスクされます。 デフォルト値は「MEDiAUser」です。
③ 新しいパスワード	: 新しいパスワードを入力します。入力ミス防止のため 2回入力します。

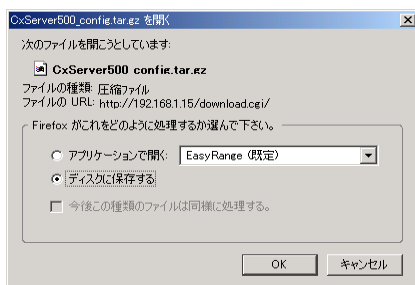
一括設定保存・読み込み

CxServer の設定ファイルを PC のファイルにダウンロード(保存)します。
また、PC に保存されているファイルをアップロード(読み込み)します。



- ① 保存：現在の設定を保存します。

【保存】をクリックすると、ブラウザの「ファイル保存」画面が表示されますので、保存場所を指定してください。

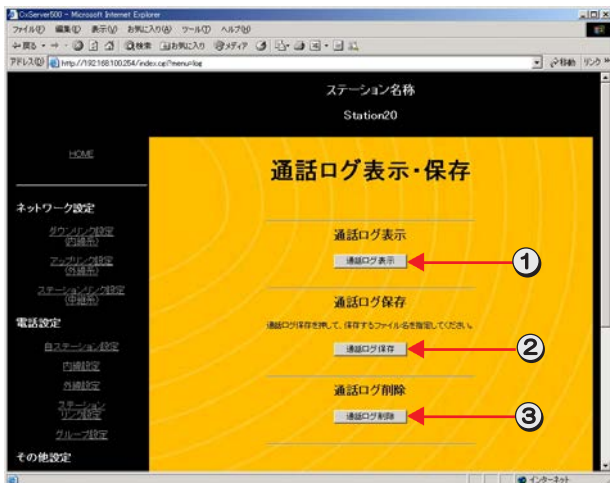


- ② 読み込み：以前保存したファイルから設定を読み込みます。

【参照】をクリックすると、ブラウザの「ファイル選択」画面が表示されますので、読み込む設定ファイルを指定してください。

通話ログ表示・保存

CxServer 管理下の端末で行われた発着信の履歴を表示・保存します。



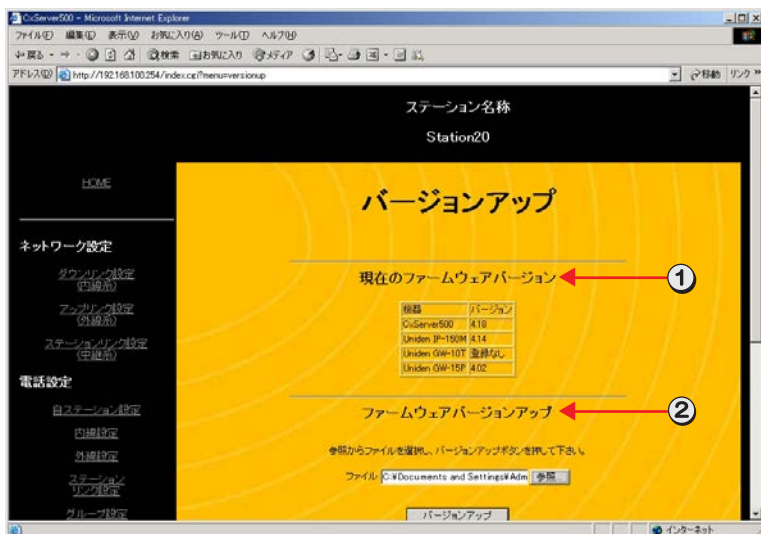
- ① 通話ログ表示 : 通話ログを表示します。



- ② 保存 : 通話ログを保存します。
【保存】をクリックすると、ブラウザの「ファイル保存」画面が表示されますので、保存場所を指定してください。ファイルは csv 形式テキストファイルで保存されます。
- ③ 削除 : 通話ログを削除します。

バージョンアップ

CxServer および CxServer 管理下の端末すべてを一括バージョンアップします。

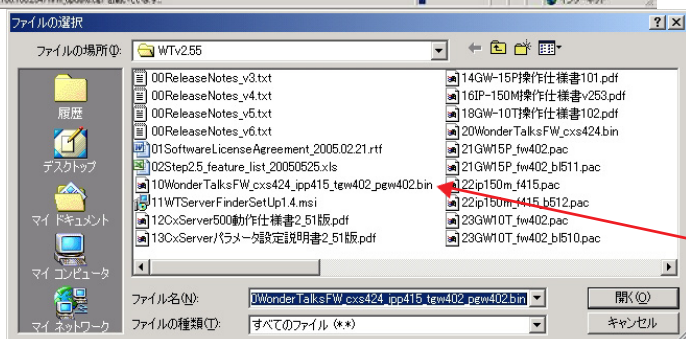
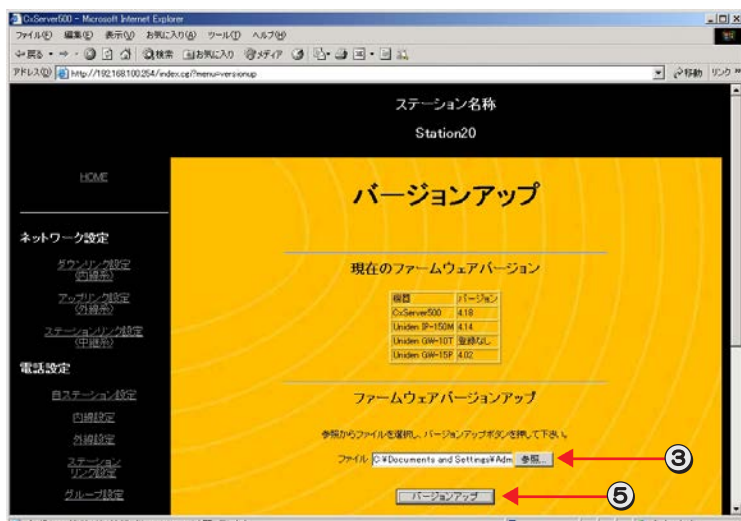


- ① 現在のファームウェアバージョン :
サーバおよび各端末のファームウェアバージョンが表示されます。
バージョンは、ファームウェア配布ファイル付属のリリースノートをご参照の上、正しいバージョンとなっていることをご確認ください。
ファームウェアのバージョン不整合が起きた場合は、動作が不安定になったり予想をしない動作をする可能性があります。
- ② バージョンアップ :
選択したファイルを使ってバージョンアップを行います。
間違えたファイルを参照選択してバージョンアップを行なうと、故障の原因となることがありますので、MEDIA から配布されたファイルを間違いなく選択してバージョンアップを行ってください。



ご注意

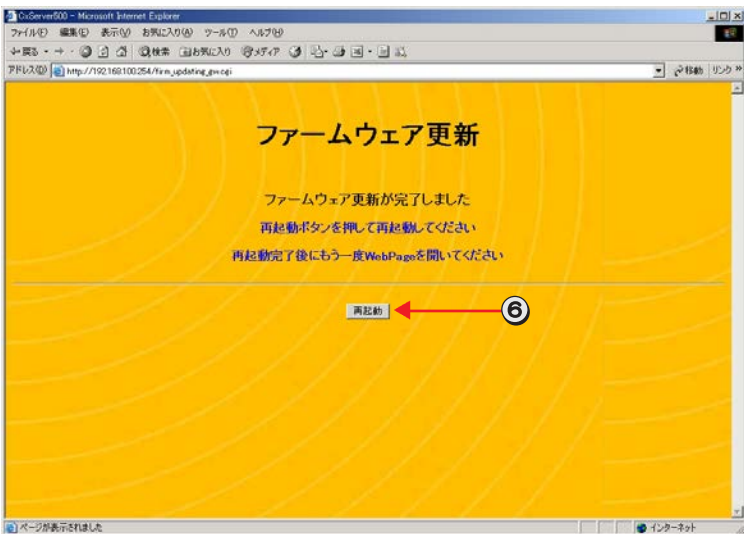
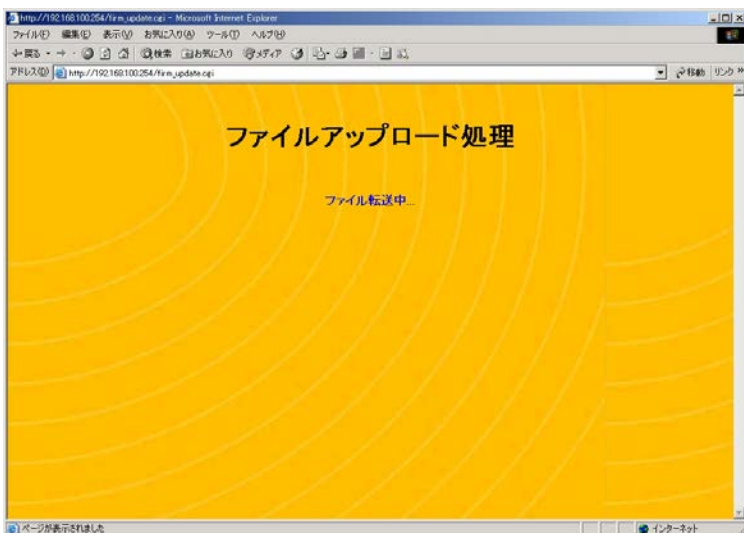
- バージョンアップ中にサーバ・端末・GW 電源が不安定になると、機器故障の原因となります。電源の抜き差しは行なわないでください。



③ ファームウェアのファイルを選択 : バージョンアップを行いたいファイルを選択する【参照】ボタンです。「10」で始まるファイルがファームウェアです。

④ ファイルのアップロード画面 : ファームウェアのファイルを選択します。ファイルの拡張子は、「.bin」形式です。ファイルを選んでから【開く】をクリックします。

⑤ バージョンアップボタン : ④ で選択をしたファイルが、テキストボックスに正しく入力されていることを確認してから、このボタンをクリックします。バージョンアップには数分から数十分の時間がかかります。端末も順次バージョンアップされますので、画面上に「バージョンアップ完了」の表示が出るまでお待ちください。

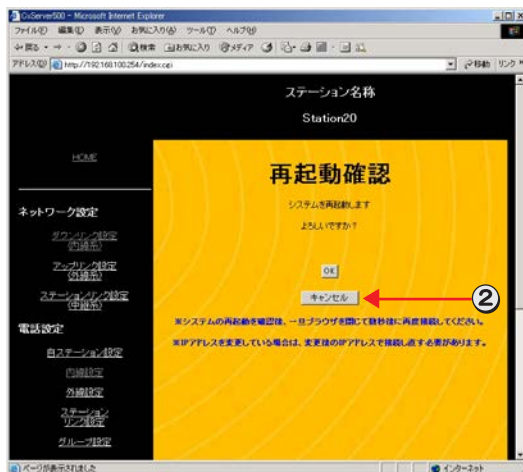


- ⑥ 再起動ボタン： ファームウェア更新が終了したら、**再起動**をクリックしてサーバを再起動させます。

再起動をクリックするとサーバが再起動するとともに、サーバ配下すべての端末が、90 秒後に順次再起動し、最新ファームウェアで動作するようになります。



- ① 再起動 : CxServer500の再起動を行います。
【再起動】をクリックすると、再度確認があります。



- ② OK : **【OK】**をクリックするとCxServer500の再起動を行います。
【キャンセル】をクリックすると再起動は行われません。

増設について

- 「M-Phone FULL IP」は/パック販売の他に、装置を増設したい場合、電話機・ゲートウェイ・端末ゲートウェイに関しては個別に販売いたしますが、SIP サーバ (CxServer500) は/パックのみの販売となります。詳しくは販売店にお問い合わせください。
- 「M-Phone FULL IP」の SIP サーバには 1 台あたり最大で合計 48 台の IP 電話機および GW-10T を収容できます。

多数の電話機を設置したい場合の主な接続方法は、次のようになります。

① 電話機数が48台以下の場合で、拠点が1つの場合。

- ☞ SIP サーバは 1 台でよいでしょう。電話機、サーバ、ゲートウェイを同一 LAN に接続して外線に繋いでください。(利用チャンネル数に制限があります)

② ビルの階が分かれていて、ひとつの階に40台くらいまでのIP電話機を収容したい場合。

- ☞ SIP サーバは、各階に 1 台ずつ設置しましょう。サーバ同士はリンクしますので、サーバが分かれても内線接続が可能です。(ステーションリンク機能)

③ 少人数の部屋がいくつもある場合。

- ☞ 48 台までは部屋が分かれてもサーバは 1 台で可能です。ただし、1 部屋で 1 グループという部屋毎に外線をとりたいときは、6 部屋で 1 サーバというのがよいと思われます。

④ 拠点が離れていくつかある場合。

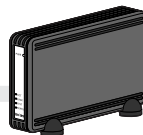
- ☞ 拠点毎にサーバを置きましょう。拠点間を VPN で接続し、拠点間通話を無料にして使えます。詳しくは、販売店にご相談ください。

⑤ 電話機数が49台以上の場合。

- ☞ SIP サーバを 50 台まで複数接続して (ステーションリンク機能) 最大 2400 台までの電話機を収容できます。
(お客様のご利用状況によっては最大数まで接続できないことがあります。)

主な仕様

SIP Server CxServer500

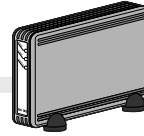


対応プロトコル	SIP (RFC3261 準拠)
呼制御方式	Advanced B2BUA 方式 (センターサーバからは UA として見える)
Ethernet (RJ45)	1Port (LAN)
外線収容数	48 回線 (一般公衆網の回線数 (局線 GW の数) と IP 電話網の回線数ダイヤルイン回線の合計)
内線収容数	48 内線 (システム最大収容数: 48x50 ルート= 2,400 台)
内線グループ数	8 グループ
内線ルーティング数	50 ルート (内線番号先頭2桁で決定)
DHCP サーバ	可
PoE 対応	不可
最大消費電力	5W

SIP Phone IP-150M

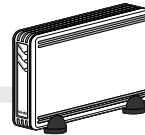


対応プロトコル	SIP (RFC3261 準拠)
Codec	G.711u-law, G.729A
Ethernet (RJ45)	2Port (LAN / PC)
PoE 対応	802.3af 準拠
QoS 対応	802.1p/Q, Diffserv/Tos
LCD 表示	16 桁×2 行
プログラムキー	8 個 (LED ランプ付) (外線用 6、ミュート 1、ピックアップ 1)
リング音量切り替え	5 段階 (OFF あり)
マイクミュート	可 (プログラムキー割り当て)
着信音鳴り分け	可 (外線 / 内線)
保留音	可 (内蔵メロディ)
ライン接続エラー検出	可 (LCD にエラー表示)
最大消費電力	5W



PSTN GW GW-15P

対応プロトコル	SIP (RFC3261 準拠)
Codec	G.711u-law
Ethernet (RJ45)	1Port (LAN)
Line(RJ11)	1Port
PoE 対応	なし
QoS 対応	802.1Q、Diffserv/TOS
LCD 表示	3 個 (Power、Link、Status)
ダイヤル出力	PB、DP (10/20)
リングングパタン検出	可 (IR、SIR 信号)
呼転送対応	可 (被転送側)
保留音 PSTN 外線送出	可 (内蔵メロディ)
最大消費電力	5W



VoIP TA GW-10T (オプション)

対応プロトコル	SIP (RFC3261 準拠)
Codec	G.711u-law、G.729A
Ethernet (RJ45)	1Port (LAN)
Line(RJ11)	1Port
PoE 対応	なし
QoS 対応	802.1Q、Diffserv/TOS
LCD 表示	3 個 (Power、Link、Status)
呼転送	可 (転送側、被転送側)
呼転送操作開始	フッキングによる
ナンバーディスプレイ対応	可 (発信者番号のみ)
着信音鳴り分け	可 (外線、内線)
保留音端末送出	可 (内蔵メロディ：呼転送操作時)
ライン接続エラー検出	可 (LED にエラー表示)
最大消費電力	5W

管理機能一覧

構成管理機能一覧

- ステーション名称設定
- IP 電話サービス接続設定
- DHCP 設定（クライアント／サーバ）
- ステーションリンク設定
- 内線設定（IP アドレス、所属グループ）
- 外線設定（契約番号、回線タイプ）
- 通話・障害ログ表示
- 呼制御統計情報表示
- 設定情報一括表示・読み込み
- NTP 設定
- 管理者パスワード設定
- バージョンアップ
- システム再起動設定

工場出荷設定一覧

設定内容 機器	IPアドレス	デフォルト G W	内線番号	内線 グループ	外線発信 0 発 / 9 発	パルス / トーン
CxServer500	192.168.100.254/24	192.168.100.1	—	—	—	—
GW-15P	自動設定(DHCP)	未設定	—	—	0	トーン
IP-150M	自動設定(DHCP)	未設定	自動設定	1	—	—
VTMate	—	—	—	—	—	—
VTConnect	—	—	—	—	—	—
GW-10T	自動設定(DHCP)	未設定	—	—	—	—

平成 17 年 6 月 8 日現在

※最新の情報はWeb でご確認ください。

発信番号割当とシステム特番

「MPhone FULL IP」 から発信する番号には、下記の制約事項があります。

- 内線番号は、次頁の「発信番号割当一覧」の範囲でのご利用となります。
- 内線番号は、上 2 桁が “20” ～ “69” (50 通り) の間で、下 2 桁が “01” ～ “48” の間となり、計 4 桁の番号となります。上 2 桁はサーバを示し、下 2 桁が内線を示します。
- 外線発信する場合、頭に「9」「0」「1」を付けます。下記に詳細を記します。

【一般公衆網接続 (GW-15P) のみ使用の場合】

- ・ 0 および 1 から始まる外線発信
通常の家庭用電話と同様にお使いいただけます。
市外局番からダイヤルする必要があります。

例)

ダイヤル 03XXXXXXXX 06XXXXXXXX 110 119 など

- ・ 9 から始まる外線発信
通常、使用しない設定となっています。

[IP 電話サービスと一般公衆網接続を併用する場合]

- 0 および 1 から始まる外線発信

通常は市外局番から発信することで、IP 電話サービスが自動選択されます。

特番（1 で始まる番号：110 番、119 番など）は、IP 電話サービスから発信できない場合がありますので、9 から始まる外線発信を使用します。

例)

一般電話にかけたい場合

ダイヤル 0 から始まる相手の電話番号

- 9 から始まる外線発信

特番（1 で始まる番号：110 番、119 番など）にかけたいときや、何らかの理由で IP 電話サービスが使用できない場合、アナログ回線から発信することができます。

例 1)

一般電話にかけたい場合

9 に続けて相手の電話番号（03XXXXXXXX など）をダイヤルする

ダイヤル 903XXXXXXXX

例 2)

特番（110 番、119 番）などにかけたい場合

9 に続けて特番の電話番号をダイヤルする

ダイヤル 9110 9119

上記は NTT 回線を GW-15P に接続した際に利用することが可能です。

※詳細は販売店にご確認ください。

発信番号割当一覧

1 桁目	サービス	備 考
1	外線発信	110、119、117、177 等
2	内線発信 4 桁固定 総計 2400 台収容可能	20xx ~ 29xx (xxは01 ~ 48)
3		30xx ~ 39xx (xxは01 ~ 48)
4		40xx ~ 49xx (xxは01 ~ 48)
5		50xx ~ 59xx (xxは01 ~ 48)
6		60xx ~ 69xx (xxは01 ~ 48)
7	システム予約	
8	システム予約	
9	一般公衆網外線発信	9+0AB ~ J
0	外線発信(0AB ~ J)	0AB ~ J
*	システム予約	
#	システム特番	

システム特番

コールピックアップ、不応答転送、不在転送は、下記のように特番が用意されています。
#3の端末プレゼンス設定は、端末側から「在席」や「離席」を登録したりする場合に使用します。

特 番	サービス	備 考
#21	自サーバコールピックアップ	
#22	自内線グループピックアップ	
#23	指定グループコールピックアップ※	#22x (xは1 ~ 8)
#24	不応答転送 ON※	
#25	不応答転送 OFF※	
#26	不在転送 ON	#26+ 転送先番号
#27	不在転送 OFF	#27
#3	端末プレゼンス設定※	#3x (xは1 ~ 9)、#30で「標準」
##	システム設定※	

※特番や機能については、一部変更となる場合があります。

※バージョンアップにて対応予定です。

S/N番号とMACアドレスについて

- 「M-Phone FULL IP1248」の各装置には、S/N番号とMACアドレスの2つの番号が並んで表示されています。共に世の中に1つしか存在しない番号で、管理上非常に大事な番号です。「M-Phone FULL IP1248」をご使用の際は、この番号の表示されているシールは剥がしたり、汚したりしないでください。

- S/N番号とMACアドレスの関連（S/N番号=シリアル番号）

S/N番号の“E”の部分は製造年になります。

2000～2007をそれぞれA～Hに割り当てます。2008はJに、2009はKに割り当てます。

（Iは紛らわしい（0AB～JもIを抜いている）ので割り当てしません）"2010～2019は0～9に割り当てます。

次の“7”は製造月になります。

1月～9月はそれぞれ1～9に割り当てます。"10月～12月はX～Zに割り当てます。

シリアルナンバー→MAC

先頭の“E7”を取ったものを10進数の数字とみなし、それを16進数6桁に変換します。その先頭に00E011を付加します。
00234384（10進）⇒ 039390（16進6桁）

MAC→シリアルナンバー

00E011039390の下6桁“039390”（16進）を10進数に変換し、頭に0を埋めて8桁にし、先頭にE7を付けます。
039390（16進）⇒ 234384（10進）
E7+00+234384（10進）⇒ E700234384（10進）

CxServer500とIP-150Mの工場出荷設定方法

CxServer500の場合

- 1) AC アダプターを抜いて電源を切断する。
- 2) 筐体背面のリセットスイッチをボールペンの先などで押しながら、AC アダプターを接続して電源を投入する。
- 3) そのまま 15 秒間ほど待つ。STATUS LED(赤)のみが点灯している間(10 秒間)にリセットスイッチを離す。
- 4) RESET スイッチを押さずに再度 AC アダプターを抜き差しし、電源を ON にする。

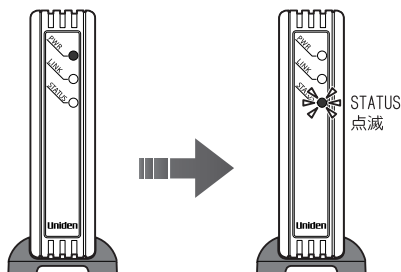
IP-150Mの場合

- 1) AC アダプターを抜いて電源を切断する。LAN ケーブルを抜く。
- 2) 「設定」 ボタンを押しながら AC アダプターを接続し、電源を投入する。
- 3) 「保留」 ボタンが点滅したら、「設定」 ボタンを離す。
- 4) 以下の通りキー操作する。
「2002」
「設定」
「0#」
「設定」
- 5) IP-150M が自動で再起動するので、再起動を確認する。

工事出荷設定を行うと、お客様環境の情報が全て消えてしまうためご利用の際は御注意下さい。

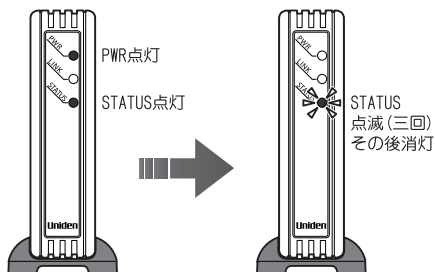
GW - 10TとGW - 15Pの工場出荷設定方法

GW-10T工場出荷設定方法



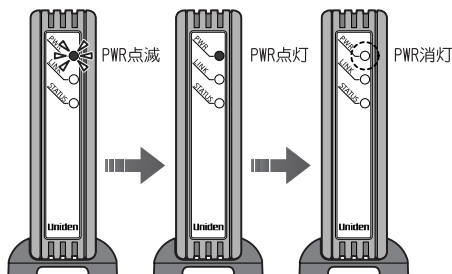
1. GW-10Tの電源投入後、PWRが点灯した状態でRESETを約5秒間押し続けます。LINKは操作に関係しません。
2. GW-10Tに接続されているアナログ電話機が鳴動します。(このときSTATUSが点滅します) アナログ電話機が鳴動したら、RESETを離します。アナログ電話機の受話器を上げ、以下の操作後リポートがガカリ、工場出荷設定となります。ダイヤル '2002 #. →ダイヤル '0 # #. →0nHook

GW-10T DHCP/自動設定=OFF設定方法



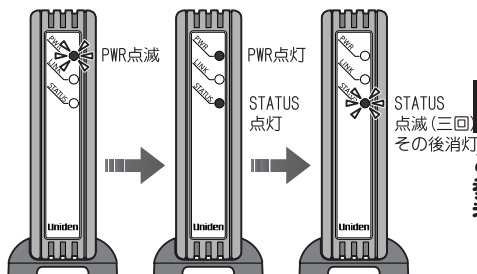
1. GW-10Tの電源投入後、DHCP取得中 (STATUS点灯中) にRESETを短押しします。LINKは操作に関係しません。
2. STATUSが三回点滅します。STATUSは点滅後消灯し、DHCP/自動設定=OFFの状態で起動します。(リポートはかかりません) IPアドレスは '192.168.100.254. となります。ただし、電源の再投入時には、再びDHCP/自動設定=ONの状態で起動します。

GW-15P工場出荷設定方法



1. GW-15Pの電源を投入します。
2. PWRが点灯したらすぐにRESETを押し続けます。LINK、STATUSは操作に関係しません。
3. PWRが消灯したらRESETを離します。リポートがガカリ、工場出荷設定となります。

GW-15P DHCP/自動設定=OFF設定方法



1. GW-15PのRESET押しながら電源を投入します。
2. RESETは押したままにします。LINKは操作に関係しません
3. STATUSが三回点滅したらRESETを離します。STATUSは点滅後消灯し、DHCP/自動設定=OFFの状態で起動します。(リポートはかかりません) IPアドレスは '192.168.100.254. となります。ただし、電源の再投入時には、再びDHCP/自動設定=ONの状態で起動します。

参考

ビジネスフォン機能リファレンス

システム機能

「M-Phone FULL IP」のパック機器をシステム構築したときに使用できる機能を以下に示します。

- ① 内線発信
- ② 外線発信（外線捕捉機能）
- ③ 内線個別着信
- ④ 内線グループ一斉代表着信
- ⑤ 外線着信（マルチライン着信）
- ⑥ 外線着信「すべり」機能
- ⑦ 外線一斉着信
- ⑧ 内線・外線着信音鳴り分け機能
- ⑨ 通話時のコーデック選択機能
- ⑩ 外線保留（パーク保留）
- ⑪ 自己保留（外線・内線）
- ⑫ 長時間保留警告
- ⑬ 取り次ぎ転送（アテンド転送）
- ⑭ 不在転送
- ⑮ リダイヤル
- ⑯ コールピックアップ

それぞれの機能の概要

172ページの①～⑬についての機能の概要を次に示します。

① 内線発信

1. 内線電話機 A から内線電話機 B をダイヤルします。
 - (ア) 受話器を上げる（**スピーカ**ボタンを押す）---DT（ダイヤルトーン）聴取
 - (イ) 相手内線番号をダイヤルする---未登録番号押下時はBT（話中音）を聴取
 - 例1 「スピーカ」+「相手内線番号」
 - 例2 「OFF フック」+「相手内線番号」※（桁数自動認識機能により内線番号 4 桁押下ですぐに発信）
⇒相手着信時、発信電話機にてRBT（呼出し音）聴取

② 外線発信（外線捕捉機能）

1. 内線電話機 A から外線番号をダイヤルします。
 - (ア) 受話器を上げる（**スピーカ**ボタンを押す）---DT（ダイヤルトーン）聴取
 - (イ) 相手外線番号をダイヤルする（一桁目は“0”，“1”，“9”のどれか）
 - （外線番号押下後、**【発信】**ボタンを押下するとすぐに発信できます。
 - 押下しない場合は、4 秒後に発信します。）
 - 未登録番号押下時はBT（話中音）を聴取例1 「スピーカ」+「相手外線番号」(+「発信」)
例2 「OFF フック」+「相手外線番号」(+「発信」)
例3 「相手外線番号」+「スピーカ」
例4 「相手外線番号」+「OFF フック」
⇒外線が捕捉されると、「該当の外線ランプ（LED）」が点灯します。
⇒相手着信時、発信電話機にてRBT（呼出し音）聴取
※ 外線発信時に外線が複数ある場合は、ラウンドロビンにてどの外線を使用するかを決定します。

③ 内線個別着信

1. 内線電話機 A から内線電話機 B をダイヤルします。
 - ⇒内線着信時、ベルが鳴動し、着信ランプが点滅します。また、LCDには発信電話の内線番号が表示されます。
 - ⇒着信内線電話機が使用中の時、同一グループの空いている最若番号の内線電話機に着信します。
 - ⇒受話器を OFF フックするか、**【スピーカ】**ボタンを押すと、応答・通話ができます。
 - ⇒応答せずに放置しておくと、約 3 分後に呼び出しが次の電話に移ります。
 - ⇒応答前、発信電話機にて RBT（呼出し音）聴取

④ 内線グループ一斉代表着信

1. 内線グループ代表番号（xx9x）をダイヤルします。
はじめの2桁はサーバを示します。最後の1桁は、内線グループを示します。
⇒ CxServer500 に登録されている同グループの IP 電話端末を一部で呼び出します。
※ 同グループ内のどの端末でも応答できます。

⑤ 外線着信（マルチライン着信）

1. 外線から着信させます。（局線ゲートウェイに接続された回線への着信）
⇒ 電話機の該当の「外線」ランプ・ボタンが早点滅し、該当グループ内の1つの端末（外線順次着信時）、またはグループ内全端末（一斉着信時）の「着信」ランプが点滅して、電話機が鳴動します。（「外線」ランプ・ボタンはサーバ配下のすべての電話機で点滅します。）
⇒ ナンバー・ディスプレイ情報のある場合（IP 電話サービスまたは ISDN 回線でフントークス専用 ISDN GW 使用時）は、発信者番号が LCD に表示されます。
2. 外線に応答します。
⇒ 着信ランプが点滅し、鳴動している電話機は、受話器を上げるか、**【スピーカ】**ボタンを押すことにより、応答できます。
⇒ 着信ランプが点滅していない端末は、受話器を上げて点滅している「ラインランプ・ボタン」（「外線ボタン」）を押すことで、応答できます。

※ 通話中の「ラインランプ・ボタン」（外線ボタン）は点灯しています。
※ 外線着信中に OFF フックをせず、該当「ラインボタン」を押して応答すると、スピーカ通話に移行します。

⑥ 外線着信「すべり」機能

- ※ 鳴動方法を一斉でなく、個別に設定してある場合に適用します。
1. 外線から着信させます。（局線ゲートウェイに接続された回線への着信等）
⇒ サーバ配下の全ての電話機の該当する「外線」ランプ・ボタンが早点滅し、
その中でも最若番の電話機の「着信」ランプが早点滅および鳴動します。
⇒ 最若番の電話機が使用中（通話中や着信鳴動中、受話器はずし、電話機無し等）の
場合、2番目の若番の端末が鳴動および早点滅します。
⇒ これを順次繰り返し、最後に最老番の電話機まで使用中の場合は、発信者に対し
て話中音（BT）を返します。

⑦ 外線一斉着信

※ 鳴動方法が一斉である場合に適用します。

1. 外線から着信させます。

⇒サーバ配下のすべての電話機の該当する「外線」ランプ・ボタンが早点滅し、グループ内全電話機（一斉着信時）の「着信」ランプが早点滅および鳴動します。
⇒グループ内の鳴動しているどの端末でも、受話器を上げるだけで応答できます。（着信すると点滅していた「ラインランプ」が点灯にかわります。）

※ 使用中の電話機は、そのままの状態となります。

※ 一斉着信中に内外線からの着信があった場合、発信内外線に対し話中音を返します。

⑧ 内線・外線着信鳴り分け機能

1. 外線から着信させます。

⇒着信電話機はIR（1秒鳴動、2秒無音）を鳴動させ、同時に同じタイミングで着信ランプを点滅させます。

2. 内線から着信させます。

⇒着信電話機はSIR（200m秒鳴動、200m秒無音、200m秒鳴動、200m秒無音、200m秒鳴動、2秒無音）を鳴動させ、同時に同じタイミングで着信ランプを点滅させます。

⑨ 通話時コーデック選択機能

【コーデック選択表】

各機器の組み合わせにより以下のコーデックが選択されます。

着信側 発信側	IP-150M	GW-15P	GW-10T	IP電話外線
IP-150M	G. 729A	G. 711u	G. 729A	外線側に従う
GW-15P	G. 711u		G. 711u	外線側に従う
GW-10T	G. 711u	G. 711u	G. 711u	G. 711u
IP電話外線	外線側に従う		外線側に従う	

⑩ 外線保留（パーク保留）

1. 外線から着信させます。
2. 着信電話を受け、通話状態とします。
3. 通話中、着信電話機で点灯しているラインキーを押すとパーク保留となり、発信相手には保留音が流れます。
⇒もう一度ラインキーを押すと、再度通話状態に戻ります。
⇒同サーバ配下の電話機でも、同時に該当ラインキーが点滅しているので、保留時にそれを押すと同サーバ配下のどの電話機でも発信者と通話できます。

⑪ 自己保留（外線・内線）

1. 内線・外線から着信させ、通話中状態とします。
2. 着信電話機の「保留」ランプ・ボタンを押します。
⇒自己保留となり、発信電話機には保留音が流れます。
⇒もう一度押すことにより、保留が解除となります。

⑫ 長時間保留警告

1. 内線・外線から着信させ、通話中状態とします。
2. 着信電話機の「保留」ランプ・ボタンを押します。
⇒自己保留となり、発信電話機には保留音が流れます。
3. そのまま自己保留状態を1分間続けます。
⇒1分間保留状態を続けることで、長時間保留警告音「ピピッピピッ」が鳴動を開始し、「保留」ランプが早点滅します。これにより、忘れられた保留状態を保留者に警告します。
⇒「スピーカ」または「保留」ボタンを押すと、通話状態に戻ります。

13 取り次ぎ転送（アテンド転送）

1. 発信端末から端末 A に着信し、通話状態とします。
2. 端末 A の「転送 / フック」ボタンを押すことで、端末 A はスペシャルダイヤルトーンを聞き、発信端末には保留音が聞こえます。
3. 端末 A で転送先番号（端末 B）を入力すると（番号だけの入力）、端末 B に着信し、端末 B のオフフックにより、端末 A と端末 B が通話状態となります。
4. 通話中、端末 A をオンフック（受話器を置く）すると、発信端末と転送先端末 B が通話できます。

※ 端末 A は発信側であっても着信側であってもかまいません。

14 不在転送

1. 特番「#26 xxxx」（転送先番号）をダイヤルすることで、不在転送を ON にできます。
⇒この電話に着信すると、自動的にxxxxに転送されます。
2. 特番「#27」をダイヤルすることで、不在転送を OFF にできます。

※ 夜間に警備員事務所や携帯電話に転送する場合等に使用。
外線に転送する場合は IP 電話サービスの利用が前提となります。
また、一部設定状況によっては、御利用になる事ができません。

15 リダイヤル

1. 電話機がアイドル状態（空き状態）のときに、「発信」ボタン+「スピーカ」ボタン。または「発信」ボタン+「発信」ボタンを押します。
⇒その電話機の電源投入後、最後に発信した番号に発信します。

※ 発信番号が呼び出し中または使用中となった場合にその番号を覚えます。

16 コールピックアップ

1. 自サーバピックアップ（#21）
 - (1) 同じサーバ配下グループに着信した電話を「#21」でとることができます。
- ※ 自サーバコールピックアップは、プログラマブルキー（8個目：ピックアップ）でも同様に可能です。
着信時に受話器を上げるか、「スピーカ」ボタンを押した後、プログラマブルキー（8個目：ピックアップ）を押すと応答することができます。

故障かな?と思ったら

修理を依頼される前に…次のことをご確認ください

こんなときは…	ここをご確認ください
サーバ、ゲートウェイ、電話機等のランプが点灯しない	装置に電源が供給されているか、確認してください。 ①サーバ、ゲートウェイ、電話機にはそれぞれ専用のACアダプターが付いています。どれかが途中で外れていませんか?またはACコンセントに接続されていますか? ②電話機は給電HUBから受電可能です。給電HUBから電源供給している場合、HUBのポートを変えてみてください。また、電話機(IP-150M)は、給電HUBからの受電可能ポートは、LANポートのみです。PCポートでは受電できません。 ③専用のACアダプターを使用していますか?
装置のLINKランプが点灯しない	「M-Phone FULL IP」のLANケーブルを間違いなく接続しているか確認してください。 ①「M-Phone FULL IP」のLANが同一ネットワーク上に接続されていますか? ②接続に使用するHUBの電源が投入されていますか?(ランプ点灯を確認してください。) ③使用しているLANケーブルの接続形態が正しいか、確認してください。 ④LANケーブルが接触不良の可能性があります。交換したのち、再度確認してください。
電話機の音が大きすぎる(小さすぎる)	本書71～73ページに音量調節方法があります。「▲」「▼」で説明の通りに設定してください。
通話中に「ガリッ」という音がすることがある	故障の場合もありますが、その前に電話機やサーバの近くに切れかけた蛍光灯や電子レンジ等の電磁波を出すものがないかを確認してください。
通話中に音がぶちぶち途切れて聞き取りづらい	次のようなことが考えられます。ネットワークを確認してください。 ①優先制御の設定が正しく行われていない場合。 ②スイッチが故障している場合。
内線をダイヤルすると、「プッププッ」という音が続いて電話ができない	自・相手内線が収容されている機器が間違いなく接続されているか、確認してください。

こんなときは…	ここをご確認ください
外線をダイヤルすると、「ブブブブ」 という音が続いて電話ができない 	外線に掛けた場合、「ブブブブ」 という音が5、6回してから接続します。少し待ってみてください。音が5、6回を超える場合は、次のことが考えられます。 ①対応するゲートウェイが間違いなく接続されていますか？電源は入っていますか？ ②ゲートウェイに外線（モジュラーコード）が接続されていますか？ ③ゲートウェイは、IP電話網向けの“0” 発信用と一般公衆網（PSTN）向けの“9” 発信用に分かれます。“0” 発信用または、“9” 発信用のゲートウェイしか接続されていないときは、どちらかに接続しようとする、同様の現象が発生します。
発信時、「ブブブブ」 という音が続いて電話ができない	ネットワークまたは CxServer500 の接続に問題がある可能性が高いと思われます。再度、ネットワーク接続や電源、ケーブルの確認をしてください。
「スピーカ」通話使用時、スピーカから音がしない（受話器は使用できる）	電話機の音量調節ボタンで音量を上げてみてください。だめな場合は一度電話機の電源を抜いてみてください。それでもだめな場合は、電話機の故障が考えられますので、販売店にお問い合わせください。
「スピーカ」通話使用時、音声がふらつく	故障ではありません。スピーカホンで音声を聞くだけの場合、「ミュート」 ボタンを押してください。きれいな音質に聞こえます。
間違って同じ IP アドレスの電話機を同一 LAN（ブロードキャストドメイン）に接続してしまった	後から接続した電話機の MAC アドレスをサーバが覚えてしまいますので、先に接続した端末は、発信しかできません（着信不可）。電話機を1つ LAN から外し、別の IP アドレスを振り直して、再度、接続してください。
サーバの電源アダプターを誤って抜いてしまい、電話機の「ラインランプ」（外線ランプ）が点灯しなくなった	当該サーバ配下の電話機の電源を ON/OFF することによって、ランプを点灯させることができます。
端末を破損した	MEDIAI にご相談ください。MEDIAI で修理を承ります。お客様センターへ御連絡して下さい。